

江北桜中学校
学校の統合についてのアンケート調査結果

平成31年2月



足立区教育委員会

目 次

1	アンケート調査の概要	1
2	統合前後の生徒数及び学級数	2
3	アンケート調査の結果	
(1)	調査結果の概要	3
(2)	生徒の調査結果	
・	質問1 学校には慣れましたか。	7
・	質問2 学校が統合になるとき、心配だったことはどんなことでしたか。	9
・	質問3 学校が統合して、人数が増えたことについて、どう思いますか。	11
・	質問4 学校が統合して、休み時間の過ごし方はどう変わりましたか。	13
・	質問5 学校が統合して、授業などの学習面で変わったことはありましたか。	15
・	質問6 学校が統合して、楽しいと思う行事等は何ですか。	17
・	質問7 質問6で選んだ行事が楽しいと思う理由は何ですか。	19
・	質問8 学校が統合して、部活動の様子に変化はありましたか。	21
・	質問9 その他に学校が統合して良かったことや困ったこと。	23
(3)	保護者の調査結果	
・	質問1 お子様は学校に慣れたと思いますか。	25
・	質問2 学校が統合になるとき、お子様について心配だったことはありましたか。	27
・	質問3 学校が統合して生徒数が増えたことについて、どう思いますか。	29
・	質問4 学校が統合した後、お子様の様子に変化はありましたか。	31
・	質問5 統合前と比べて、統合後のPTA活動など学校に関わる活動について負担に変化はありましたか。	33
・	質問6 その他に学校が統合して良かったことや困ったこと。	35
(4)	教員の調査結果	
・	質問1 子どもたちは新しい学校に慣れたと思いますか。	37
・	質問2 生徒数・学級数が増えたことで、子どもたちの学習活動に変化はありましたか。	39
・	質問3 生徒数・学級数が増えたことで、学校行事や生徒会活動での子どもたちの様子に変化はありましたか。	41
・	質問4 生徒数・学級数が増えたことで、部活動での子どもたちの様子に変化はありましたか。	43
・	質問5 統合にあたって、教員の皆様の負担についてお伺いします。	45
・	質問6 その他に学校が統合して良かったことや困ったこと。	49

1 アンケート調査の概要

江北桜中学校は、平成29年4月に上沼田中学校と江北中学校が統合して開校しました。このたび、統合前から在学している生徒とその保護者、及び教員を対象に「学校の統合についてのアンケート」を無記名で実施しました。

(1) 目的

今後の区立小・中学校の適正規模・適正配置を進めていくうえでの参考とする。

(2) 調査期間

平成30年9月25日（火）から平成30年10月5日（金）まで

(3) 調査対象

- ア 生徒 } 江北桜中学校の3年生とその保護者
- イ 保護者 }
- ウ 教員 : 統合前に上沼田中学校又は江北中学校に勤務しており、引き続き江北桜中学校に勤務している教員

(4) 調査方法

学校を通じてアンケート用紙を配付・回収

(5) 回収率

- ア 生徒 : 75名（回収率97.4%）
- イ 保護者 : 48名（回収率62.3%）
- ウ 教員 : 12名（回収率100%）

(6) 集計にあたって

- ア それぞれのアンケート項目は、学校全体及び出身校別で集計しました。
- イ この調査結果では、質問項目ごとに選択率を小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。
- ウ 「その他自由意見」等の記述による回答は、できる限り原文を尊重して記載しました。

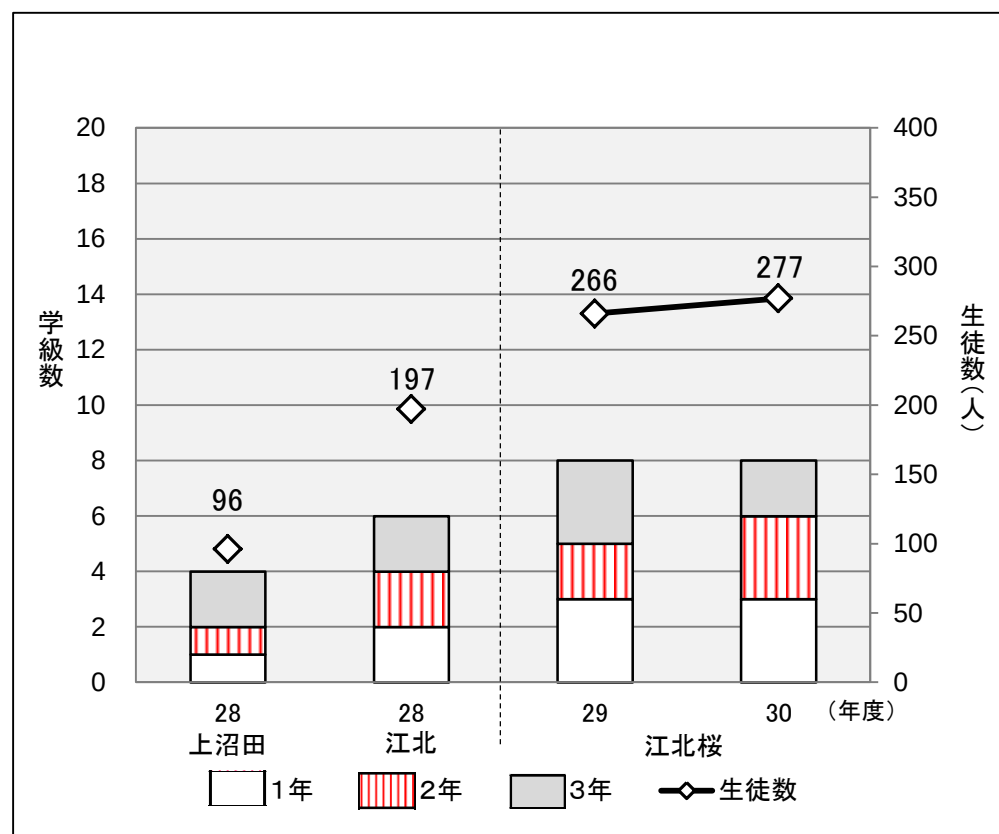
2 統合前後の生徒数及び学級数

○統合前

28 年 度	上沼田中学校			
		1年	2年	3年
	生徒数	9	29	58
	学級数	1	1	2
	江北中学校			
		1年	2年	3年
	生徒数	66	58	73
	学級数	2	2	2

○統合後

江北桜中学校				
29 年 度		1年	2年	3年
	生徒数	101	77	88
	学級数	3	2	3
30 年 度		1年	2年	3年
	生徒数	98	102	77
	学級数	3	3	2



※各年度とも5月1日現在の生徒数及び学級数

3 アンケート調査の結果

(1) 調査結果の概要

統合前年度である平成28年度の中学校1年生の在籍者数は、旧上沼田中学校9名、旧江北中学校66名でした。統合した1学級の人数で見ると、旧江北中の生徒33名の中に、旧上沼田中の生徒が4、5名加わったことになり、約9対1の比率でした。旧上沼田中の生徒の環境は大きく変わったのに対し、旧江北中の生徒はそれほどでもなかったと言えます。

回収したアンケートの比率も、生徒が約9対1、保護者が約8対2となっていることから、回答の「合計」は旧江北中の意向が強く反映されています。そのため、統合前後の変化については、生徒及び保護者とも「統合前と変わらない」が最も多くなっていると考えられます。

ア 生徒

- ・ 旧上沼田中は「人数が増えること」を心配していた生徒が多い一方で、旧江北中は「心配はなかった」生徒が多い(9～10 ページ)。
- ・ 両校出身の生徒とも人数が増えたことを肯定的に捉えているが、否定的に捉えている生徒との割合で見ると、旧上沼田中は2倍、旧江北中は約9倍となっている(11～12 ページ)。
- ・ 授業などの学習面で変わったことは、両校とも「統合前と変わらない」生徒が多いが、一方で「授業が楽しくなった」「色々な意見や考え方に触れるようになった」生徒も多いことから、新しい環境をプラスに捉えている様子が伺える(15～16 ページ)。
- ・ 学校行事では、それぞれの行事を楽しんでいる生徒が多く、そのほとんどは人数が増えたことが理由であった(17～20 ページ)。

イ 保護者

- ・ 小規模校の旧上沼田中の保護者のほうが、統合の際に心配を抱えていた割合が高い。特に「先生が替わること」を心配していた保護者が多くなっている(27～28 ページ)。
- ・ 両校の保護者とも人数が増えたことを肯定的に捉えているが、否定的に捉えている保護者との割合で見ると、旧上沼田中は2倍、旧江北中は約1.3倍となっている(29～30 ページ)。
- ・ 子どもの変化では、全体としては「統合する前と変わらない」が多いが、両校とも「友だちが増えた」と回答している保護者が多い(31～32 ページ)。

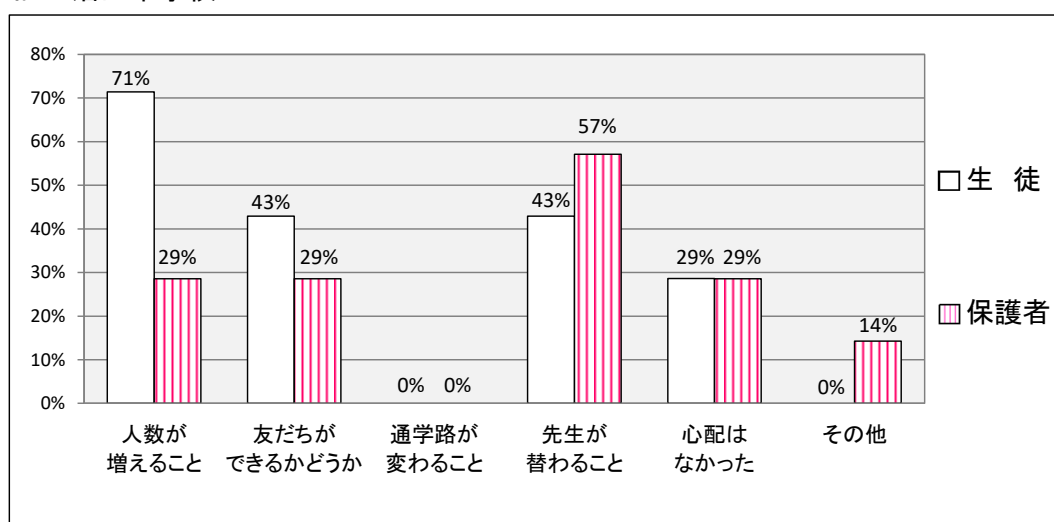
ウ 教員

- ・ 学習活動の変化では、様々な意見に触れることで生徒の見聞が広がり、集団活動でも良い影響が現れた。その反面、旧上沼田中出身者の中に環境の変化に適応するのが難しい生徒が出た（39～40 ページ）。
- ・ 学校行事や生徒会活動での変化については、生徒数・学級数が増えて盛り上がった反面、活躍する場面が極端に減った生徒が出た（41～42 ページ）。
- ・ 統合に関する教員の負担は大きなものとなっている（45～48 ページ）。

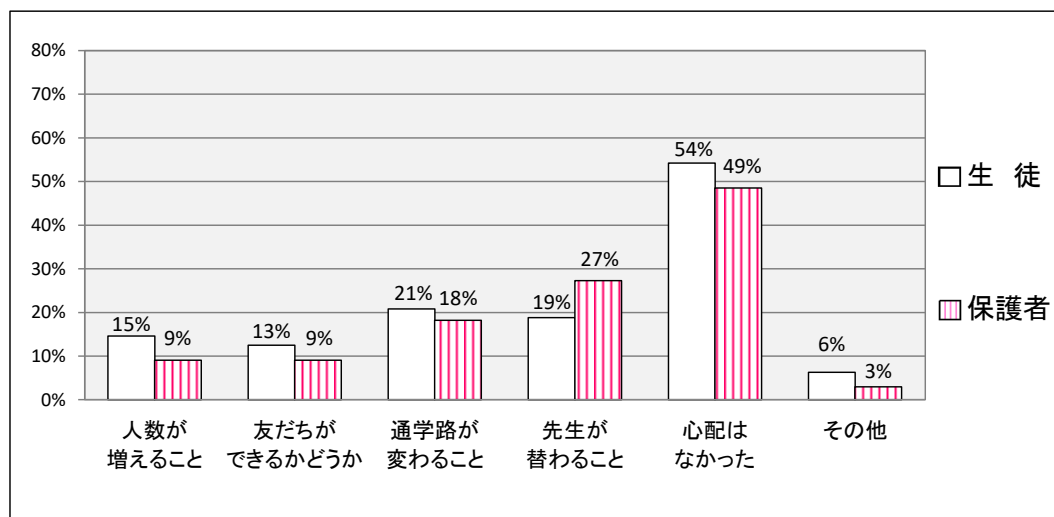
エ 生徒と保護者に共通する主な質問に対する回答の比較

◆ 質問2「学校が統合になるとき、心配だったこと。」

旧上沼田中学校



旧江北中学校



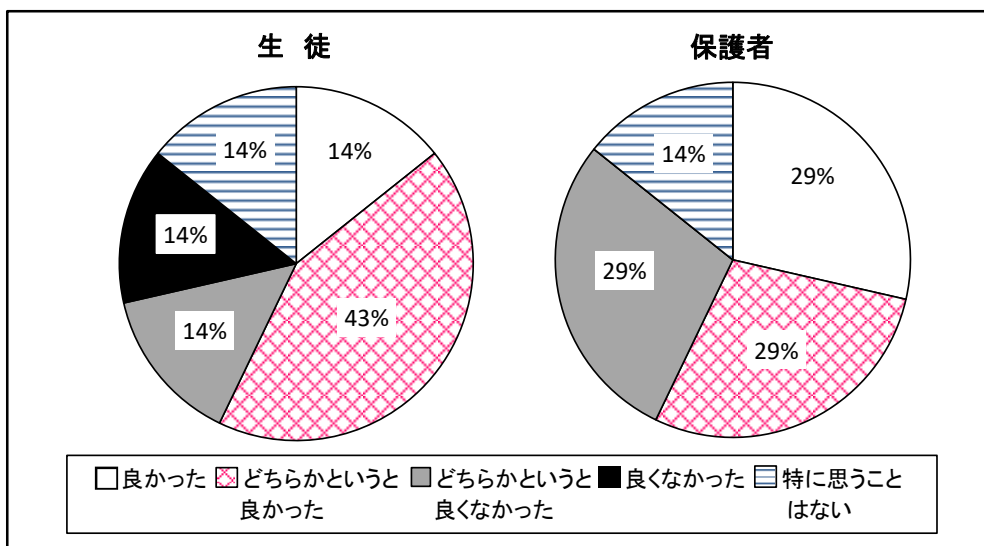
生徒と保護者との回答割合を比べると、旧上沼田中では、「人数が増えること」と「友だちができるかどうか」が生徒のほうが高く、逆に「先生が替わること」は保護者のほうが高くなっています。一方旧江北中では、いずれの項目でも生徒と保護者の大きな差はなく、「心配はなかった」が最も多かった反面、

「人数が増えること」と「友だちができるかどうか」については比較的低くなっています。

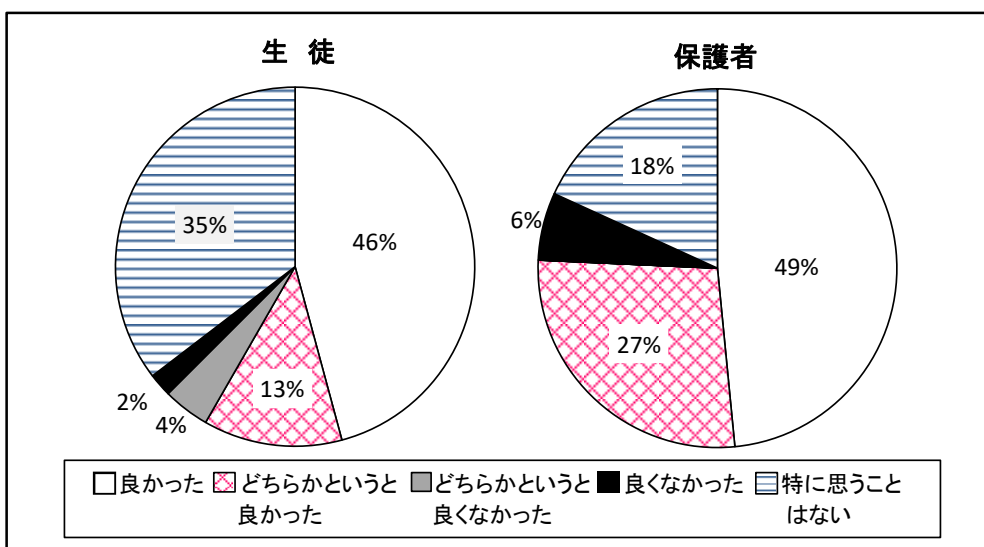
また、統合後の平成29、30年度は旧上沼田中の校舎を使用することになっていたため、「通学路が変わること」については旧上沼田中が皆無であったのに対し、旧江北中は2割程度が心配であったと回答しました。

◆ 質問3「学校が統合して、人数が増えたこと。」

旧上沼田中学校



旧江北中学校



「良かった」と「どちらかという良かった」とを合わせた肯定的な割合は、両校の生徒及び旧上沼田中の保護者が全体の約6割であったのに対し、旧江北中の保護者は約8割と高くなっています。

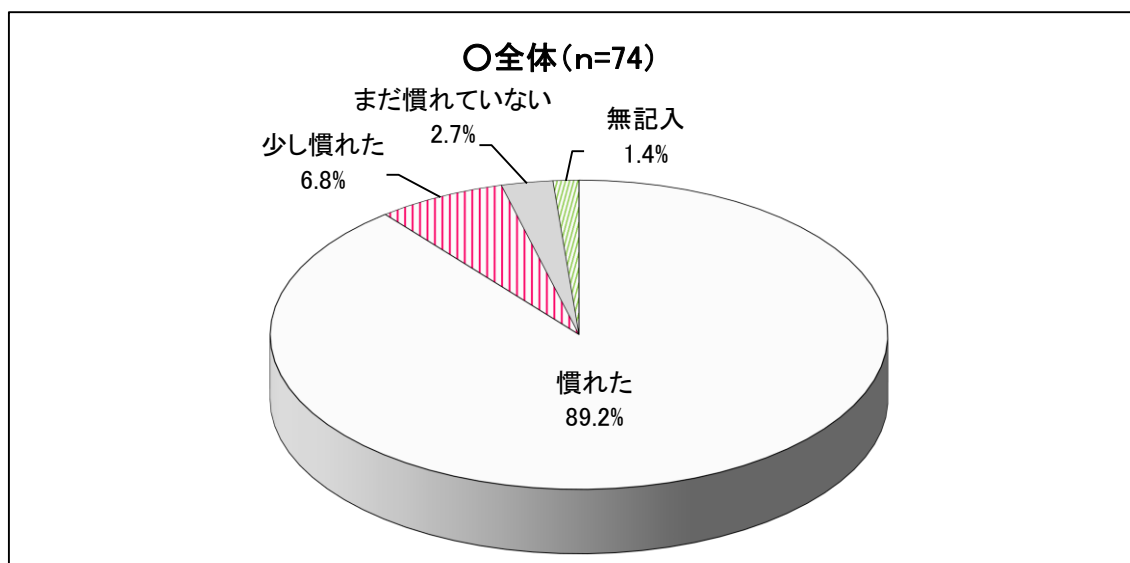
逆に、「どちらかという良くなかった」と「良くなかった」とを合わせた否定的な割合は、旧上沼田中は生徒と保護者ともに約3割であったのに対し、旧江北中は両者とも1割未満でした。

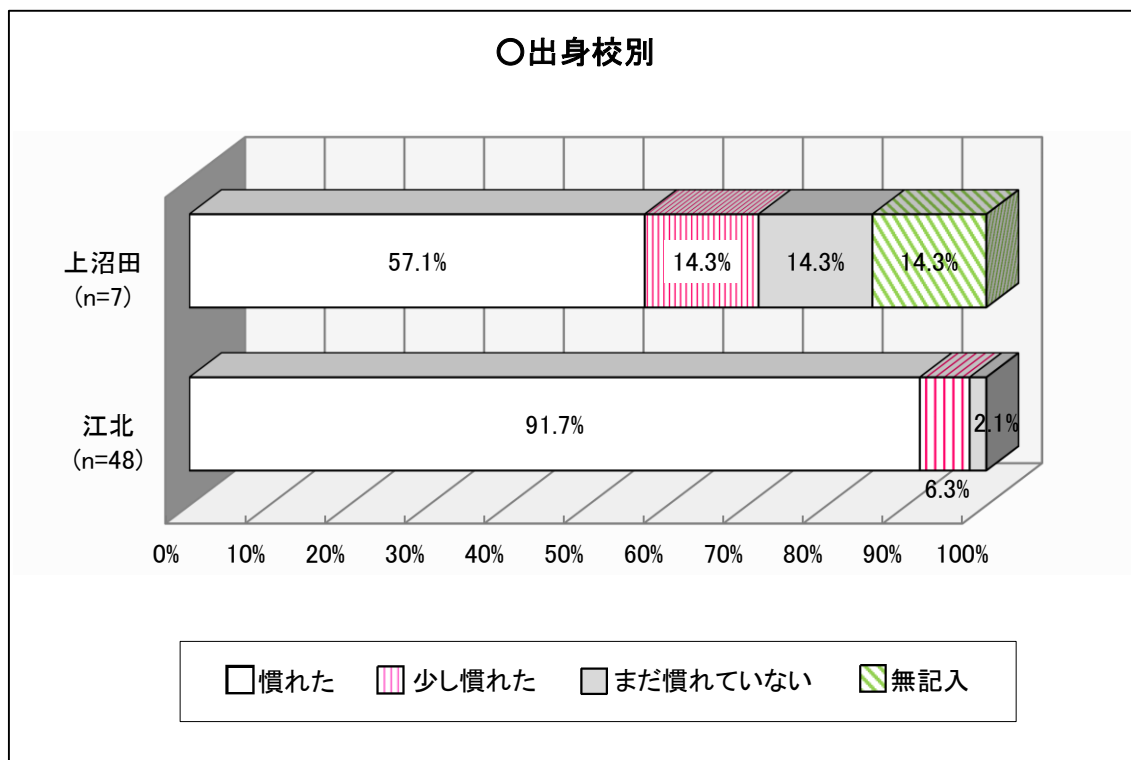
（２）生徒の調査結果

質問１ 学校には慣れましたか。

学校全体では、「慣れた」と回答した生徒は 89.2%で最も多く、次いで「少し慣れた」6.8%、「まだ慣れていない」2.7%の順となっています。

	慣れた	少し慣れた	まだ慣れていない	無記入	合計
上沼田	4	1	1	1	7
江 北	44	3	1	0	48
無記入	18	1	0	0	19
合 計	66	5	2	1	74
上沼田	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	100%
江 北	91.7%	6.3%	2.1%	0.0%	100%
無記入	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	100%
合 計	89.2%	6.8%	2.7%	1.4%	100%

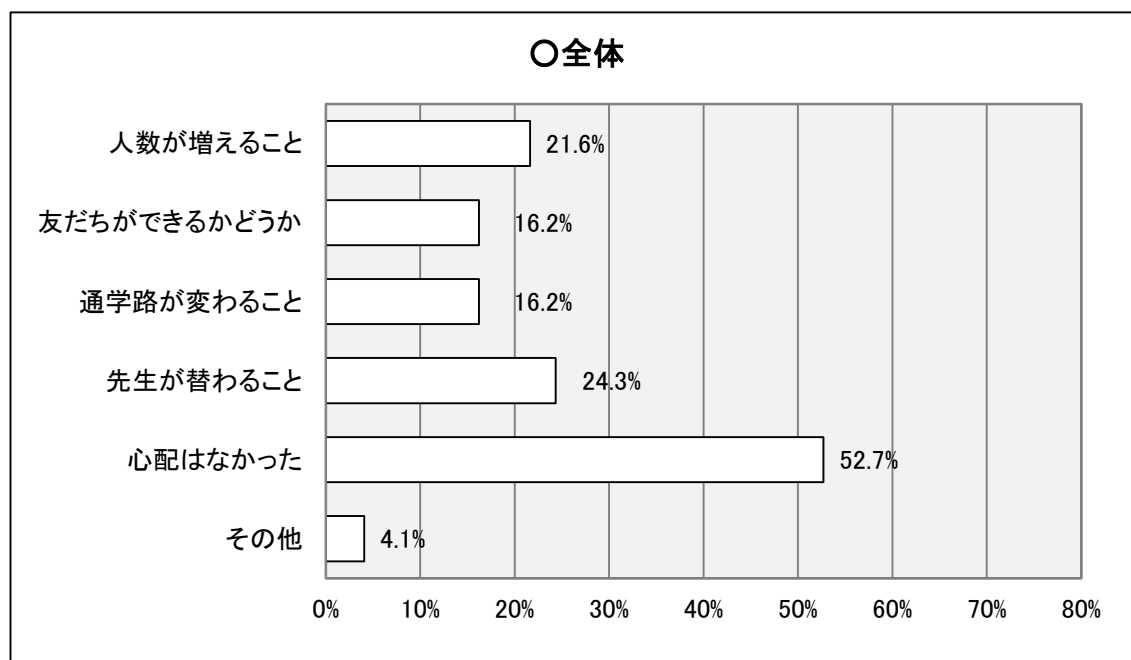


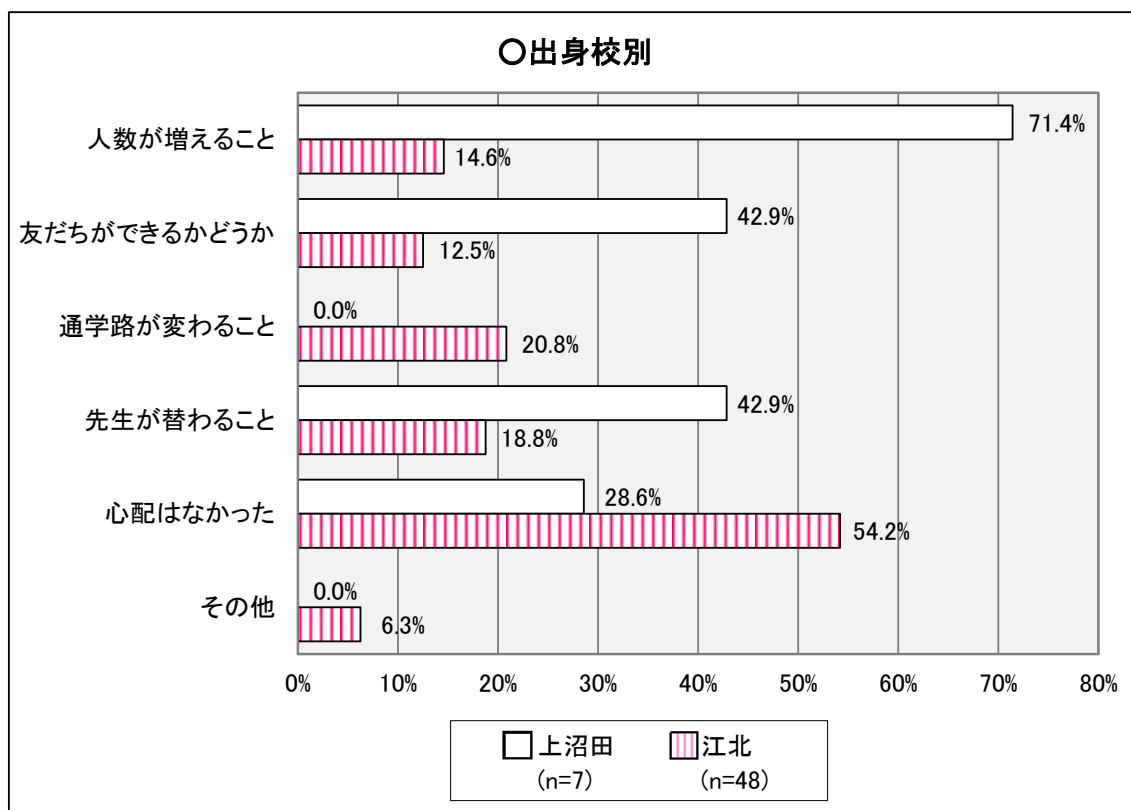


質問２ 学校が統合になるとき、心配だったことはどんなことでしたか。
(複数回答)

学校全体では、「心配はなかった」が52.7%で最も多く、以降「先生が替わること」24.3%、「人数が増えること」21.6%の順となっています。また出身校別では、旧上沼田中学校の生徒は「人数が増えること」、「友だちができるかどうか」及び「先生が替わること」の順、旧江北中学校の生徒は「心配はなかった」、「通学路が変わること」の順となっています。

	人数が増えること	友だちができるかどうか	通学路が変わること	先生が替わること	心配はなかった	その他	無記入
上沼田	5	3	0	3	2	0	0
江北	7	6	10	9	26	3	0
無記入	4	3	2	6	11	0	0
合 計	16	12	12	18	39	3	0
上沼田	71.4%	42.9%	0%	42.9%	28.6%	0%	0%
江北	14.6%	12.5%	20.8%	18.8%	54.2%	6.3%	0%
無記入	21.1%	15.8%	10.5%	31.6%	57.9%	0%	0%
合 計	21.6%	16.2%	16.2%	24.3%	52.7%	4.1%	0%





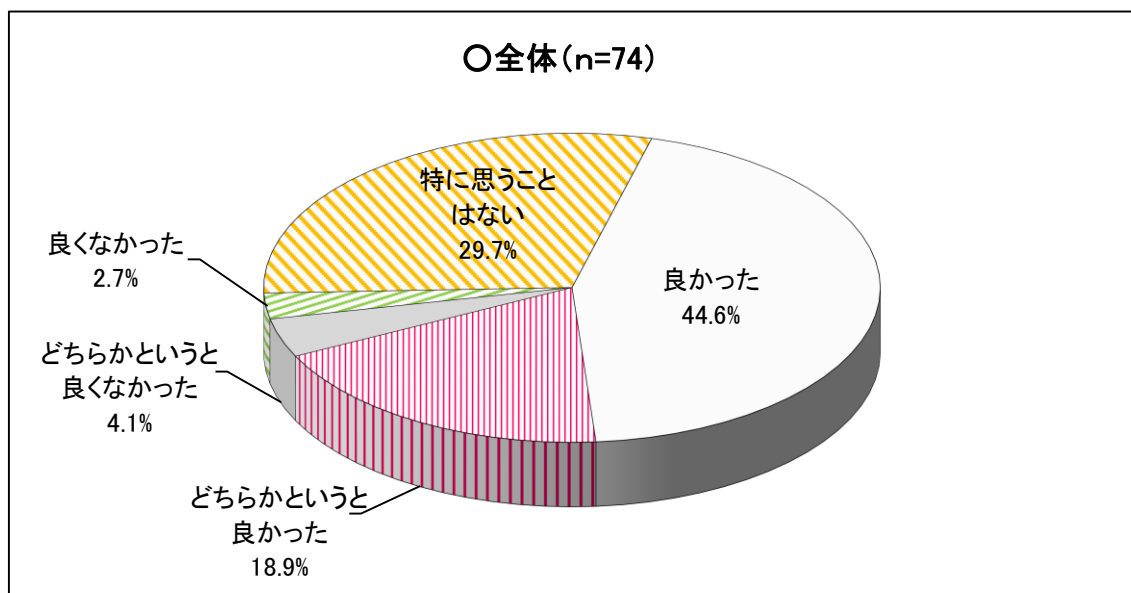
(その他自由意見)

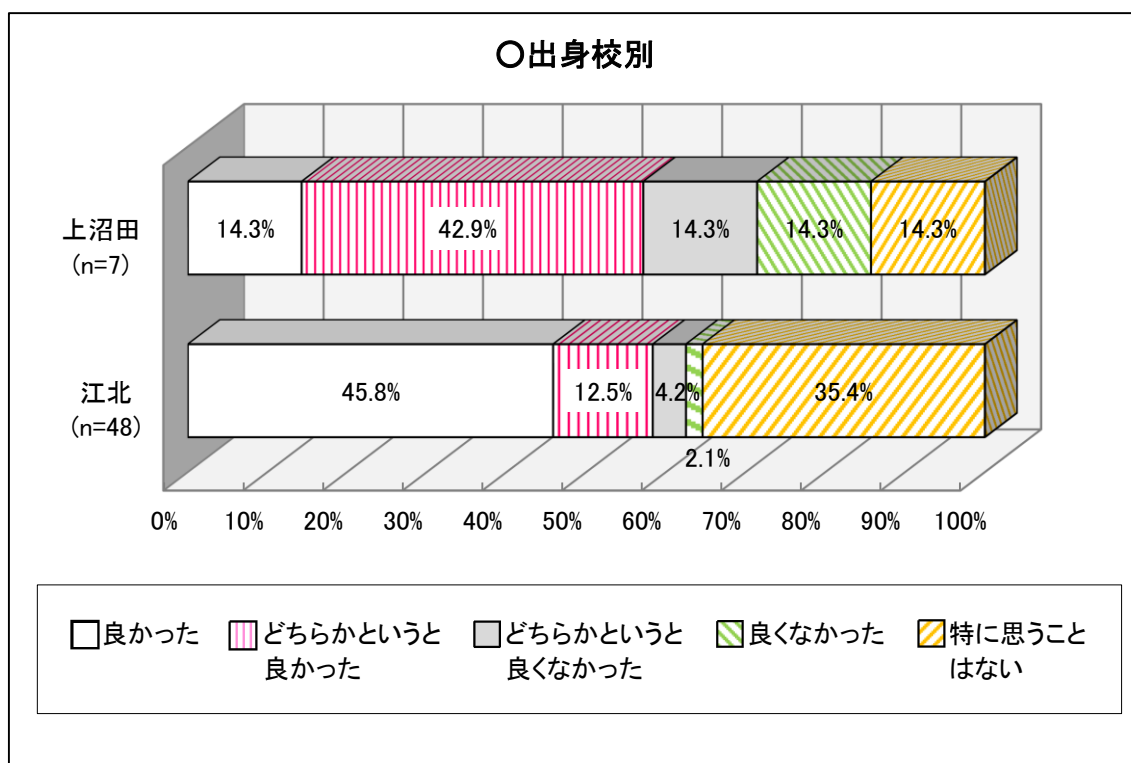
- ・ 卒業できるかどうか
- ・ ちこく
- ・ 部活メンバー

質問3 学校が統合して、人数が増えたことについて、どう思いますか。

学校全体では、「良かった」と回答した生徒は 44.6%、「どちらかという良かった」と回答した生徒は 18.9%となっています。また、両者を合わせた生徒の割合を出身校別で見ると、旧上沼田中学校は 57.1%、旧江北中学校は 58.3%で過去のアンケートと比べると高い割合となっています。

	良かった	どちらかという 良かった	どちらか という と 良くな かった	良くな かった	特に思 うこと はない	無記入	合計
上沼田	1	3	1	1	1	0	7
江 北	22	6	2	1	17	0	48
無記入	10	5	0	0	4	0	19
合 計	33	14	3	2	22	0	74
上沼田	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	14.3%	0%	100%
江 北	45.8%	12.5%	4.2%	2.1%	35.4%	0%	100%
無記入	52.6%	26.3%	0%	0%	21.1%	0%	100%
合 計	44.6%	18.9%	4.1%	2.7%	29.7%	0%	100%





参考：鹿浜菜の花中学校の「学校の統合についてのアンケート」（平成２９年１２月実施）

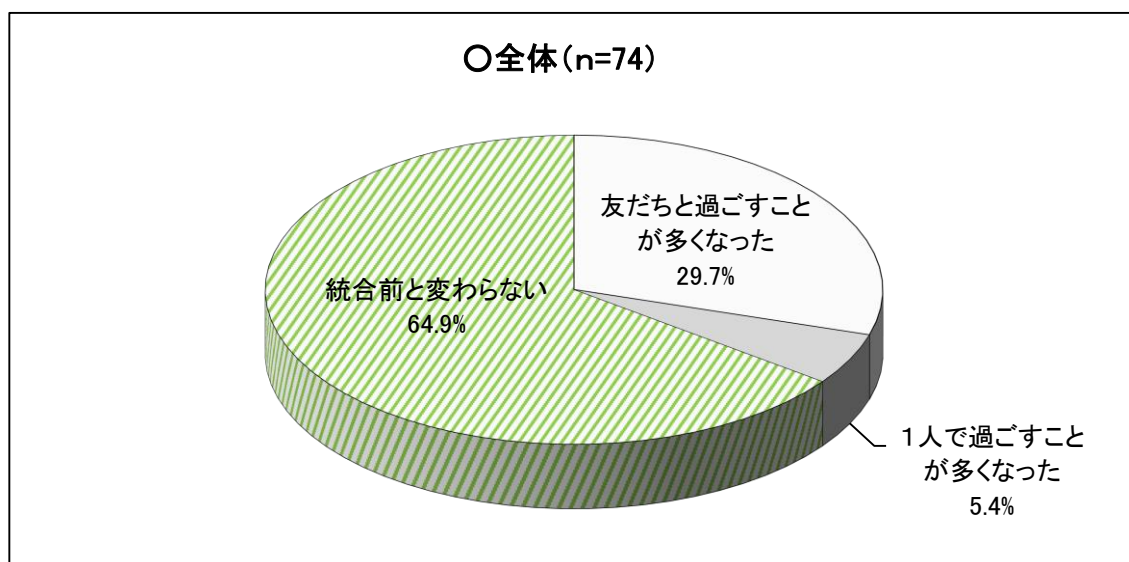
対象：３年生

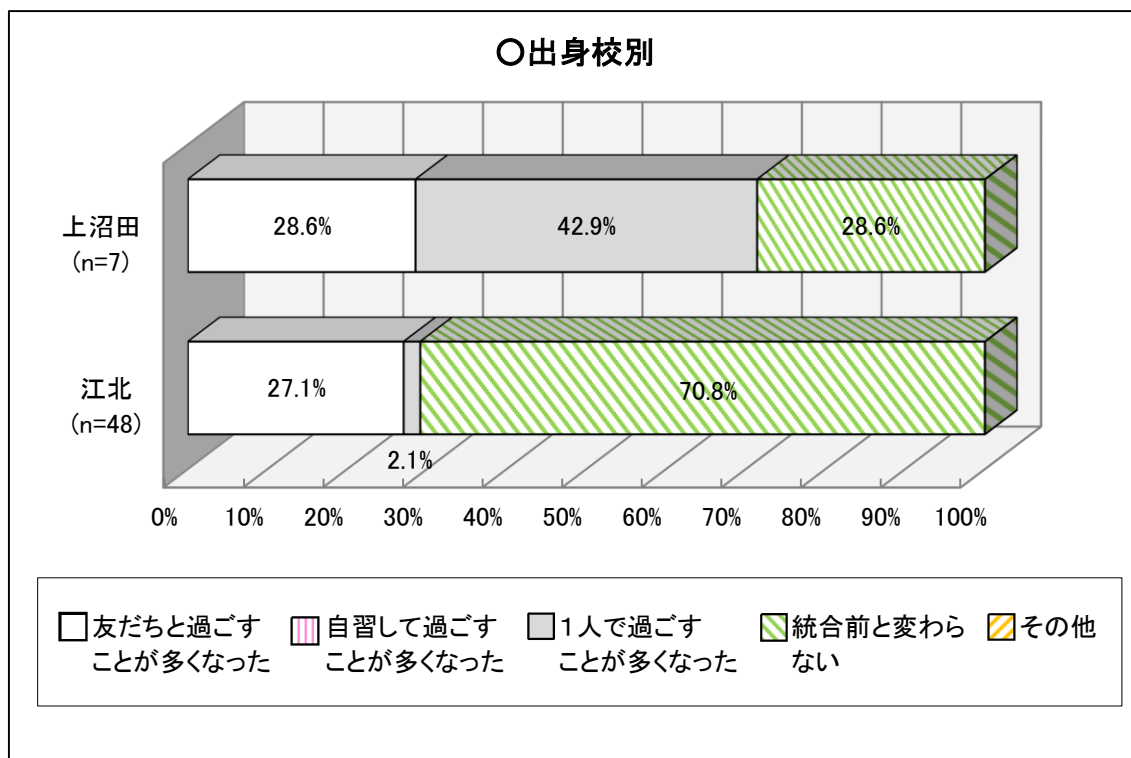
	増えて良かった	増えてどちらかという良かった	少ないほうがどちらかという良かった	少ないほうが良かった	特に思う事はない	無記入
鹿浜 (n=42)	23.8%	26.2%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%
第八 (n=60)	26.7%	15.0%	15.0%	15.0%	28.3%	0.0%
無記入 (n=36)	52.8%	8.3%	2.8%	19.4%	16.7%	0.0%
合計 (n=138)	32.6%	16.7%	9.4%	13.8%	27.5%	0.0%

質問4 学校が統合して、休み時間の過ごし方はどう変わりましたか。

学校全体では、「統合前と変わらない」が64.9%で最も多く、以降「友だちと過ごすことが多くなった」29.7%、「1人で過ごすことが多くなった」5.4%の順となっています。出身校別では、旧江北中学校の生徒の「統合前と変わらない」が70.8%で突出しています。

	友だちと 過ごすこ とが多 くなった	自習して 過ごすこ とが多 くなった	1人で過 ごすこ とが多 くなく なった	統合前と 変わら ない	その他	無記入	合計
上沼田	2	0	3	2	0	0	7
江 北	13	0	1	34	0	0	48
無記入	7	0	0	12	0	0	19
合 計	22	0	4	48	0	0	74
上沼田	28.6%	0%	42.9%	28.6%	0%	0%	100%
江 北	27.1%	0%	2.1%	70.8%	0%	0%	100%
無記入	36.8%	0%	0%	63.2%	0%	0%	100%
合 計	29.7%	0%	5.4%	64.9%	0%	0%	100%

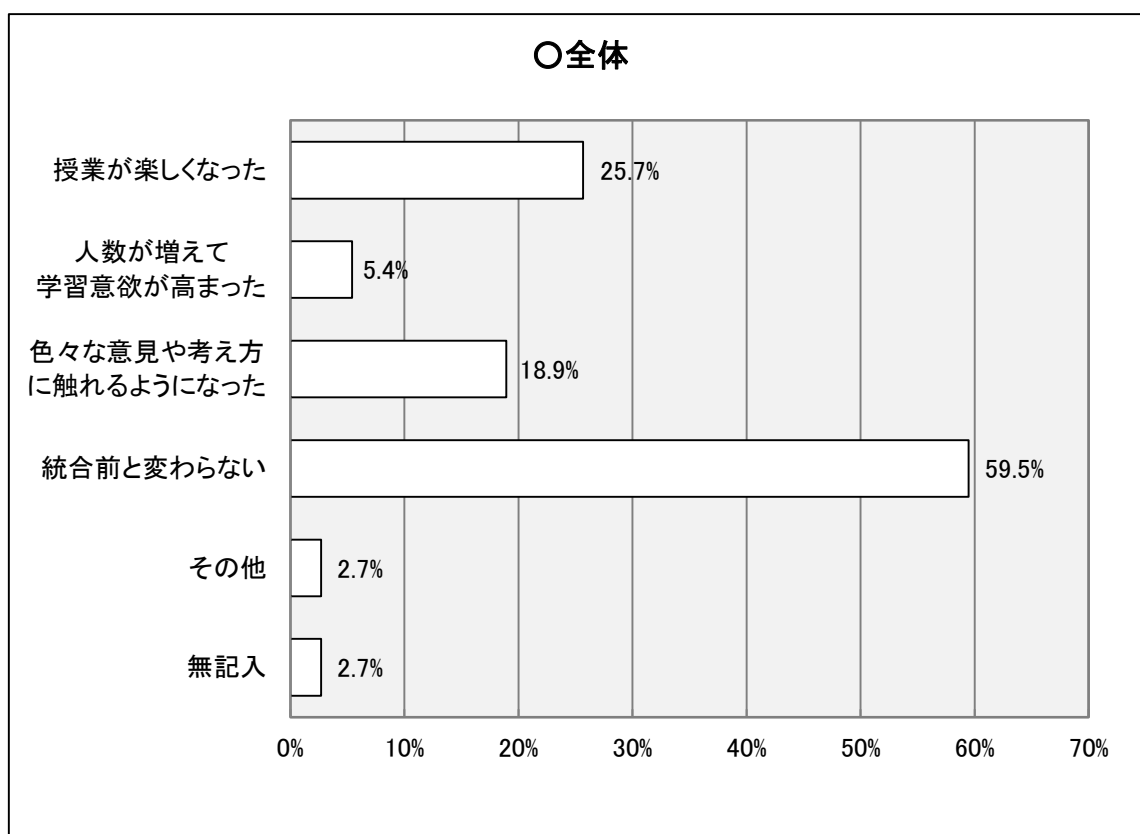


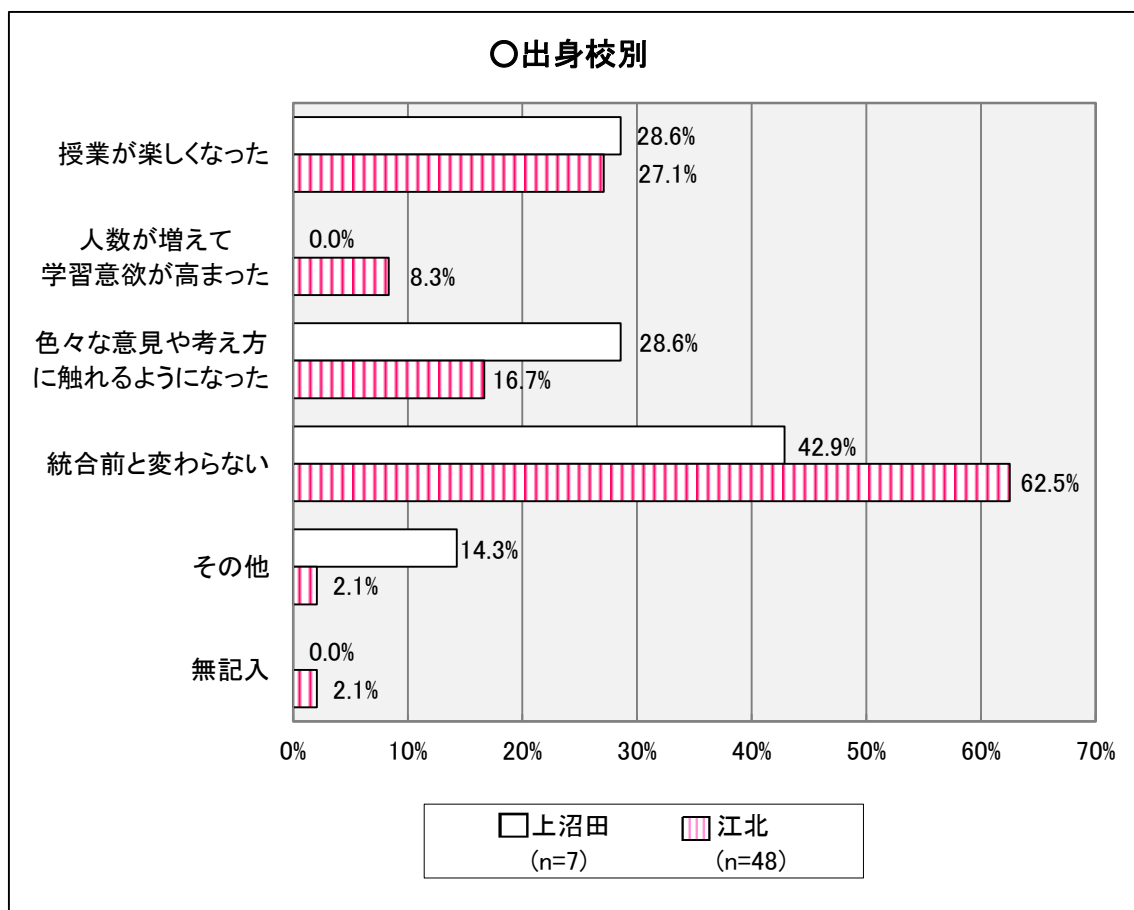


質問5 学校が統合して、授業などの学習面で変わったことはありませんでしたか。
(複数回答)

学校全体では、「統合前と変わらない」が59.5%で最も多く、以降「授業が楽しくなった」25.7%、「色々な意見や考え方に触れるようになった」18.9%の順となっています。また出身校別では、概ねこの通りとなっています。

	授業が楽しくなった	人数が増えて学習意欲が高まった	色々な意見や考え方に触れるようになった	統合前と変わらない	その他	無記入
上沼田	2	0	2	3	1	0
江 北	13	4	8	30	1	1
無記入	4	0	4	11	0	1
合 計	19	4	14	44	2	2
上沼田	28.6%	0%	28.6%	42.9%	14.3%	0%
江 北	27.1%	8.3%	16.7%	62.5%	2.1%	2.1%
無記入	21.1%	0%	21.1%	57.9%	0%	5.3%
合 計	25.7%	5.4%	18.9%	59.5%	2.7%	2.7%





(その他自由意見)

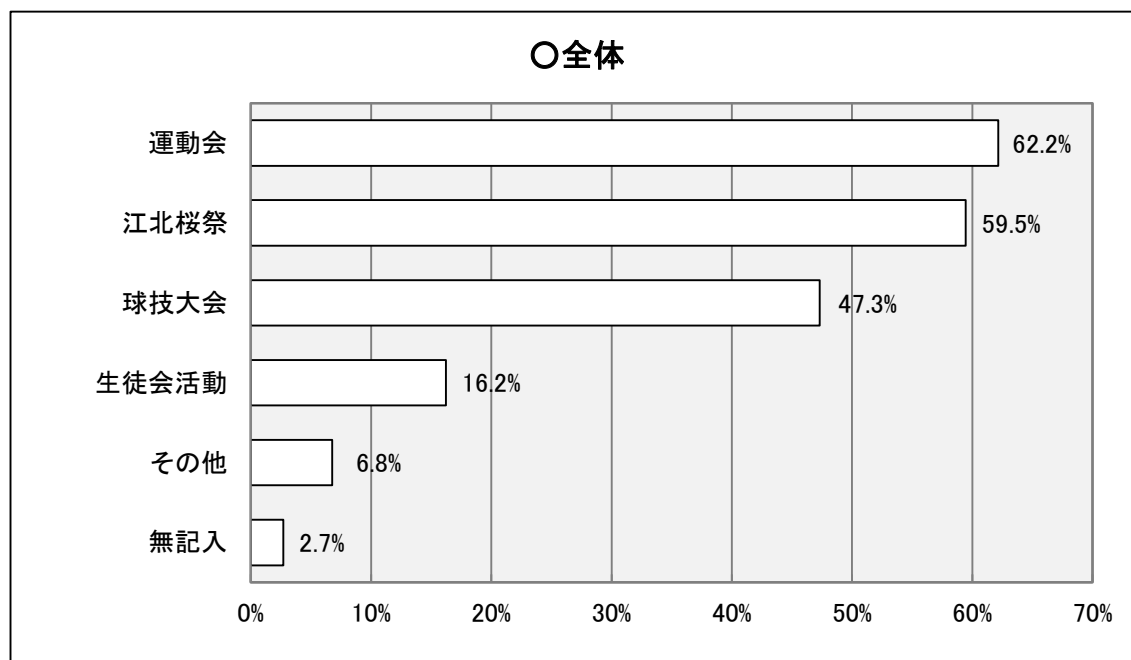
- ・授業中しゃべっている人が増えうるさくなった。
- ・前よりさわがしくなったり、ねてる人もいる。

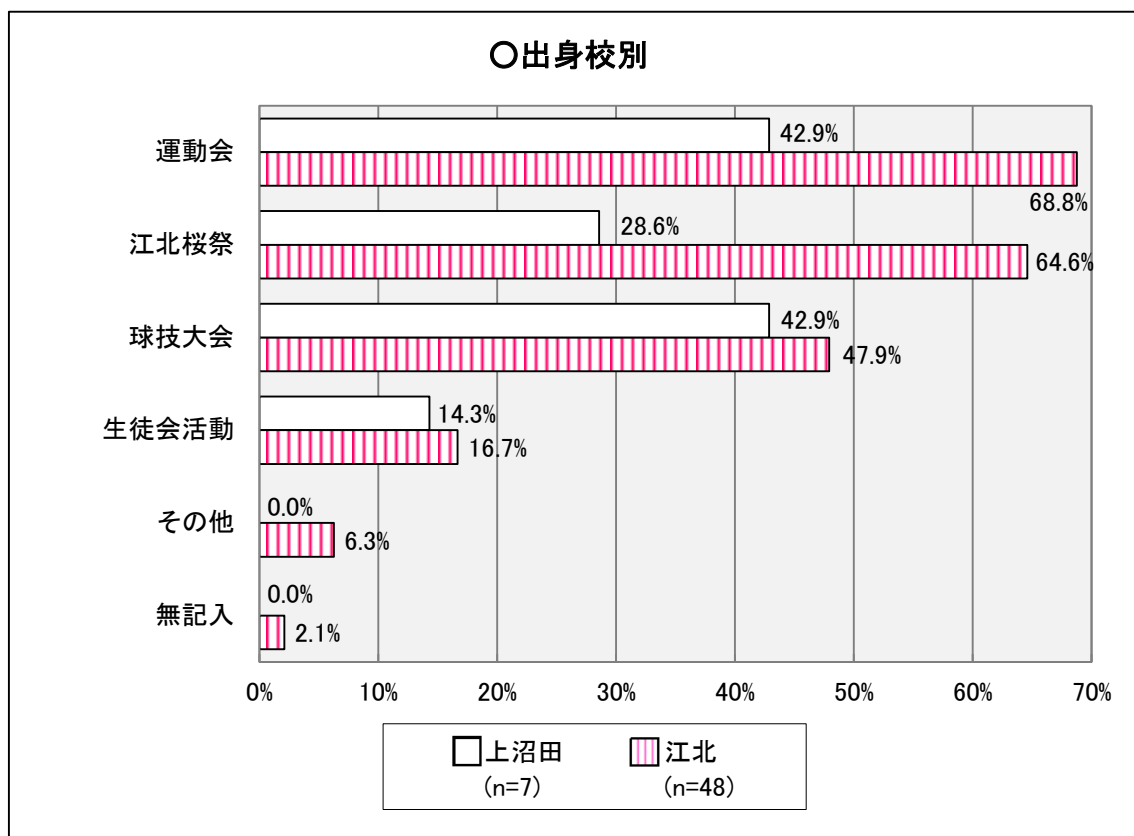
質問6 学校が統合して、楽しいと思う行事等は何ですか。(複数回答)

学校全体では、「運動会」が 62.2%で最も多く、以降「江北桜祭」59.5%、「球技大会」47.3%の順となっています。出身校別で見ると、旧上沼田中学校は「運動会」と「球技大会」、旧江北中学校では、「運動会」と「江北桜祭」が多くなっています。旧上沼田中学校には「球技大会」がなかったため、楽しいと思う生徒の割合が高くなったと考えられます。

	運動会	江北桜祭	球技大会	生徒会活動	その他	無記入
上沼田	3	2	3	1	0	0
江 北	33	31	23	8	3	1
無記入	10	11	9	3	2	1
合 計	46	44	35	12	5	2
上沼田	42.9%	28.6%	42.9%	14.3%	0%	0%
江 北	68.8%	64.6%	47.9%	16.7%	6.3%	2.1%
無記入	52.6%	57.9%	47.4%	15.8%	10.5%	5.3%
合 計	62.2%	59.5%	47.3%	16.2%	6.8%	2.7%

※江北桜祭とは、学習活動の成果を発表する文化的行事です。平成29、30年度は、合唱と舞台発表を行いました。





(その他自由意見)

- ・ 修学旅行(2)

質問7 質問6で選んだ行事が楽しいと思う理由は何ですか。

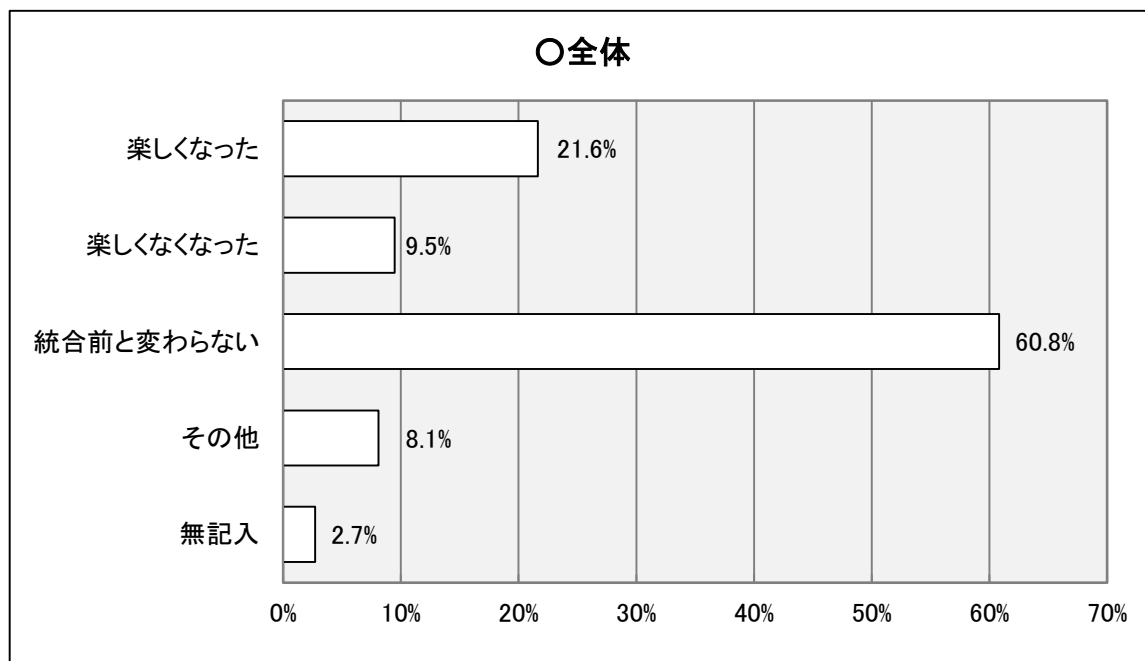
出身校	意見
上沼田	・人数が増えたので多人数で行事に参加できるようになったから。 ・人数が増えて盛り上がるから。 ・運動会は、人数が増えたから。 ・球技大会は、スポーツをして互いに応援や楽しめるから。 ・球技大会は、前の中学校ではなかったから。 ・生徒会活動は、上沼田中学校の時から放送（公報）をやっていたので、昔の先輩のように後輩にアドバイスをして、放送委員をよりよくしていくのが楽しい。
江 北	・イベントは楽しいから。 ・おおにんずうでとりくむから。 ・クラスの仲間といちだんけつできるから。 ・自分たちが中心となって、行事ができたから。めっちゃ仲良い子ができたから2年のとき楽しかった。 ・しゅうだん力がたかまった。 ・すこしだけど人数が増えたから。 ・生徒が力を合わせてつくるもので、全校生徒が楽しめるから。 ・人数が増えたから。 ・人数が増えたぶん盛り上がるから。 ・人数が増えて、その人の色々な面がわかったから。 ・人数が増えて迫力がました。 ・みんなが1つにまとまったように感じたから。 ・みんなで楽しめて、クラスの協力や団結力が深くなるから。仲も深まるから。 ・みんなで仲良くもりあがれるから！！ ・みんなで盛り上げられるから。 ・みんなと協力して楽しめる。 ・運動神経が良い人が増えたり、歌がうまい人がいるから。 ・運動会は、人数が増えて、きそう人数が多くなったから。 ・運動会は、人数も少しふえて、より団結力をだすためにがんばれたから。 ・運動会は、みんなとたのしめるから。 ・運動会は、人数が増えて盛り上がるから。 ・運動会は、人数が多くなったから。 ・運動が好きだから。 ・江北桜祭は、新しくできた行事だから。 ・江北桜祭は、音楽が好きで劇なども面白いから。

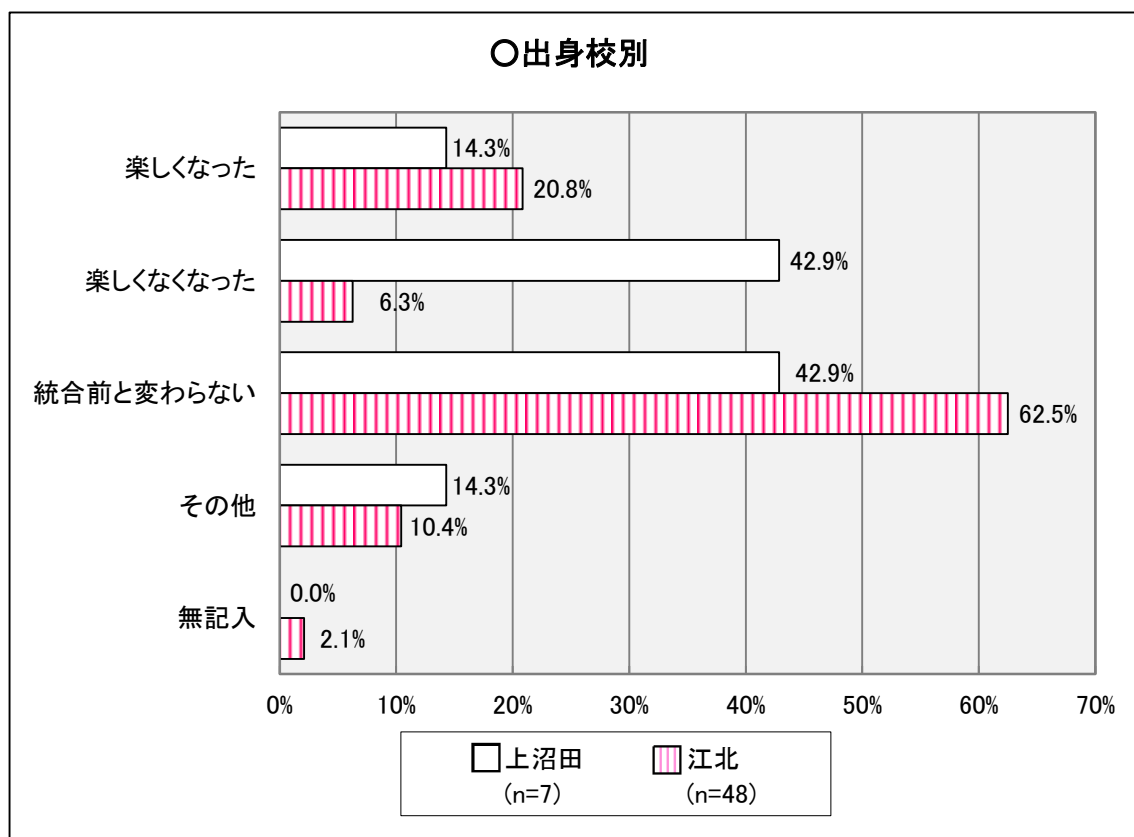
出身校	意見
江 北	・ 江北桜祭は、仕事があってやりがいを感じるから。 ・ 江北桜祭は、多人数で楽しめる。 ・ 球技大会は、楽しい。 ・ 生徒会活動は、たまに企画で楽しませてくれる。 ・ 生徒会活動は、全校生徒で遊べる遊びをするから。 ・ 生徒会が好き。
無記入	・ 統合前ととくにかわらないけど、人数が少しだけ増えたから楽しいと思う。 ・ 人数が多くなると団結が難しいけど、その分成し遂げることができたらとても楽しいからです。 ・ 人がいっぱいいるから。 ・ 人が多いからできることが増える。 ・ 前の学校の良かったところを組み合わせ、さらに良くなっていったから。 ・ みんなが1つにまとまったように感じたから1つになる。盛り上がる。 ・ みんなで楽しくできる行事だから。 ・ 運動会は、人数が増えたことで競い合う人も増えたから。 ・ 運動会は、盛り上がる。 ・ 球技大会は、みんなで協力し合い楽しくやることができるから。 ・ 球技大会は、球技が得意だから。 ・ 合唱コンクールから江北桜祭に変わり、劇などが増えたから。 ・ 江北桜祭は、合唱だけじゃなくなったから。 ・ 江北桜祭は、みんなで協力するから。 ・ 江北桜祭は、自身が参加できるから。

質問8 学校が統合して、部活動の様子に変化はありましたか。(複数回答)

学校全体では、「統合前と変わらない」が60.8%で最も多く、以降「楽しくなった」21.6%、「楽しくなくなった」9.5%の順となっています。出身校別で見ると、旧上沼田中学校では「楽しくなくなった」及び「統合前と変わらない」が多くなっているのに対し、旧江北中学校は「統合前と変わらない」、「楽しくなった」の順となっています。

	楽しくなった	楽しくなくなった	統合前と変わらない	その他	無記入
上沼田	1	3	3	1	0
江北	10	3	30	5	1
無記入	5	1	12	0	1
合 計	16	7	45	6	2
上沼田	14.3%	42.9%	42.9%	14.3%	0%
江北	20.8%	6.3%	62.5%	10.4%	2.1%
無記入	26.3%	5.3%	63.2%	0%	5.3%
合 計	21.6%	9.5%	60.8%	8.1%	2.7%





質問9 その他に学校が統合して、良かったことや困ったこと。

出身校	意見
江 北	・ ふんいきが明るくなった。 ・ 冷水機が各階にある。 ・ 通学路のきよりがながくなった。 ・ こうていがせまくなった、かいだんがかわった。 ・ 校舎が狭い。 ・ かいだんがせまい。
無記入	・ 人数が増えた。

生徒

保護者

教員

生徒

保護者

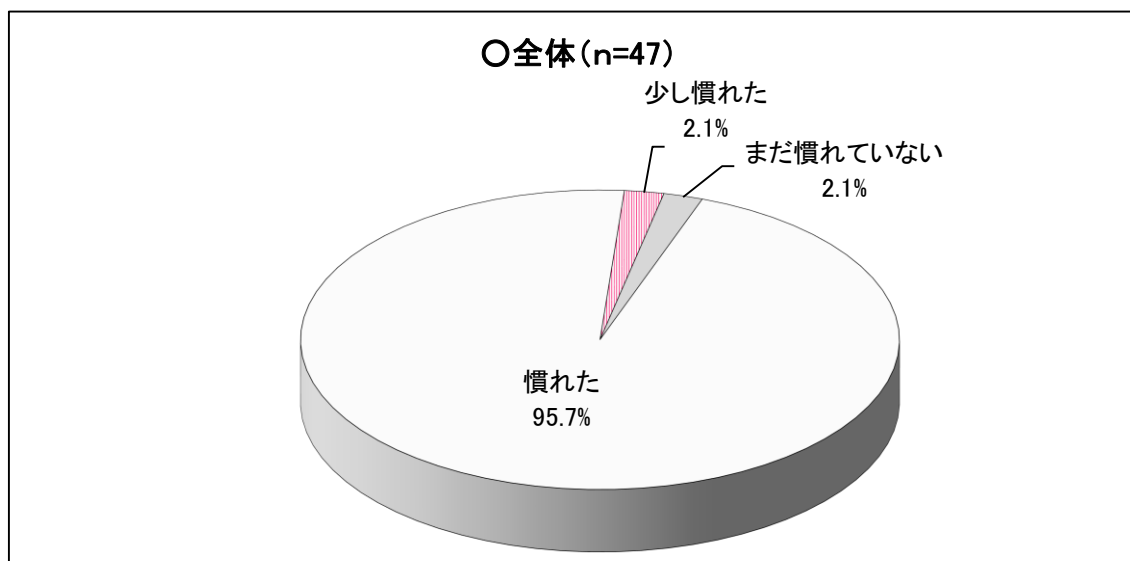
教員

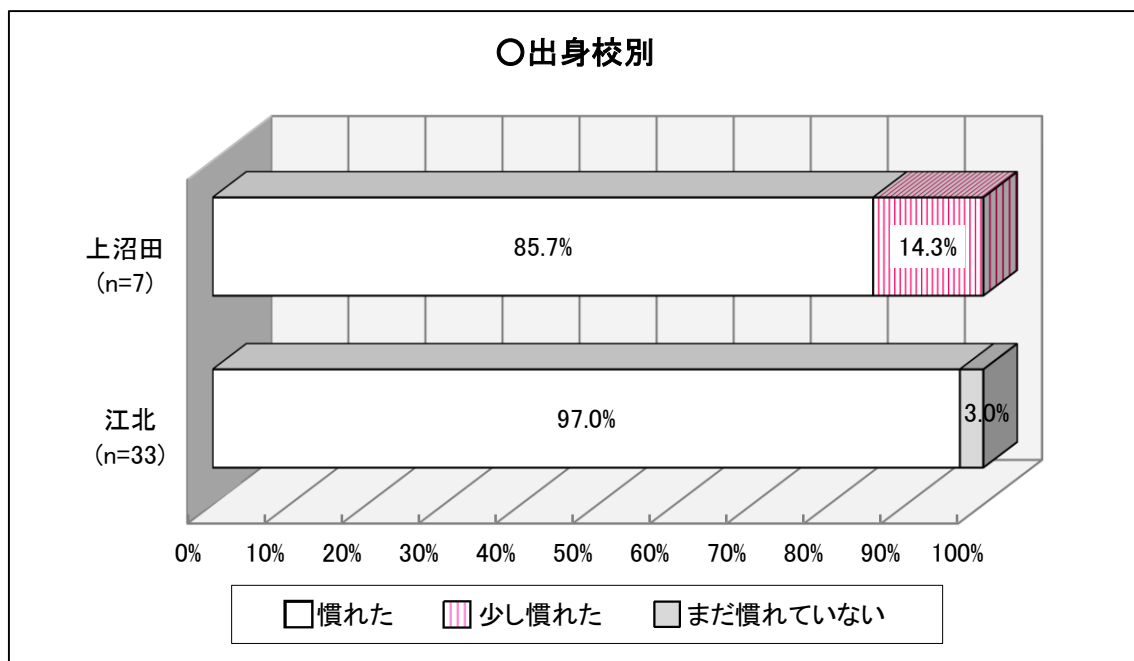
(3) 保護者の調査結果

質問1 お子様は学校に慣れたと思いますか。

学校全体では、「慣れた」が95.7%、「少し慣れた」及び「まだ慣れていない」が2.1%となっています。

	慣れた	少し慣れた	まだ慣れていない	無記入	合計
上沼田	6	1	0	0	7
江 北	32	0	1	0	33
無記入	7	0	0	0	7
合 計	45	1	1	0	47
上沼田	85.7%	14.3%	0%	0%	100%
江 北	97.0%	0%	3.0%	0%	100%
無記入	100%	0%	0%	0%	100%
合 計	95.7%	2.1%	2.1%	0%	100%

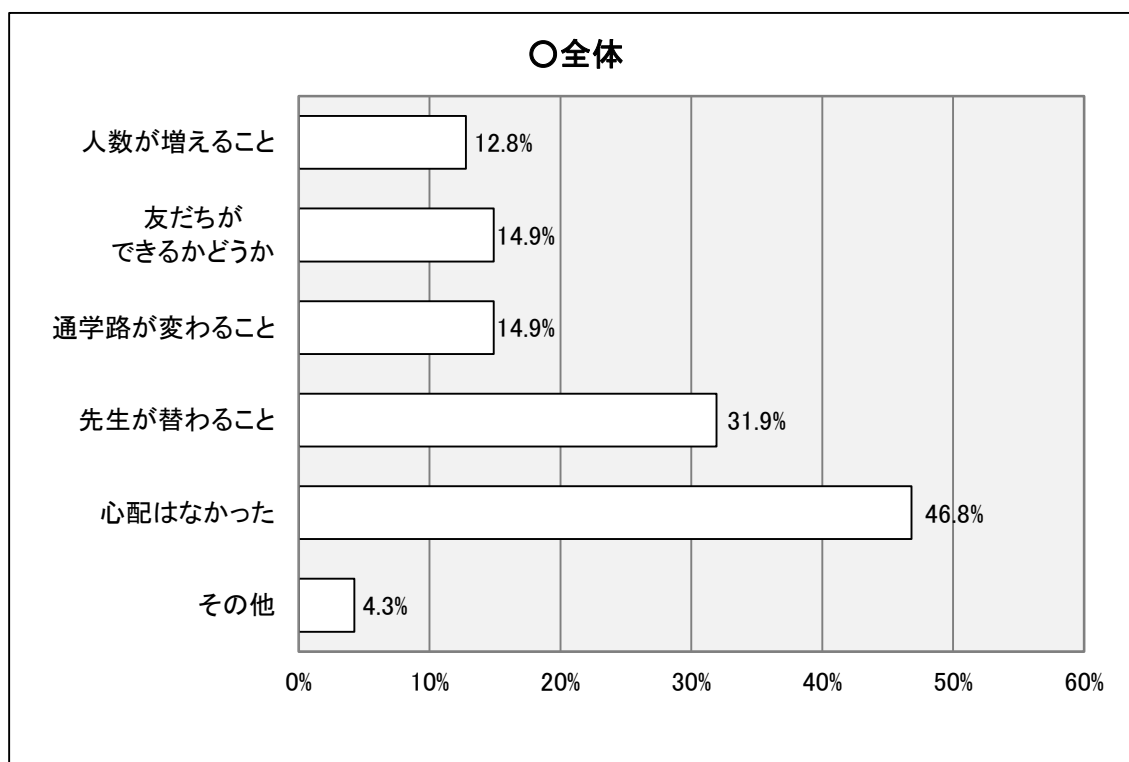


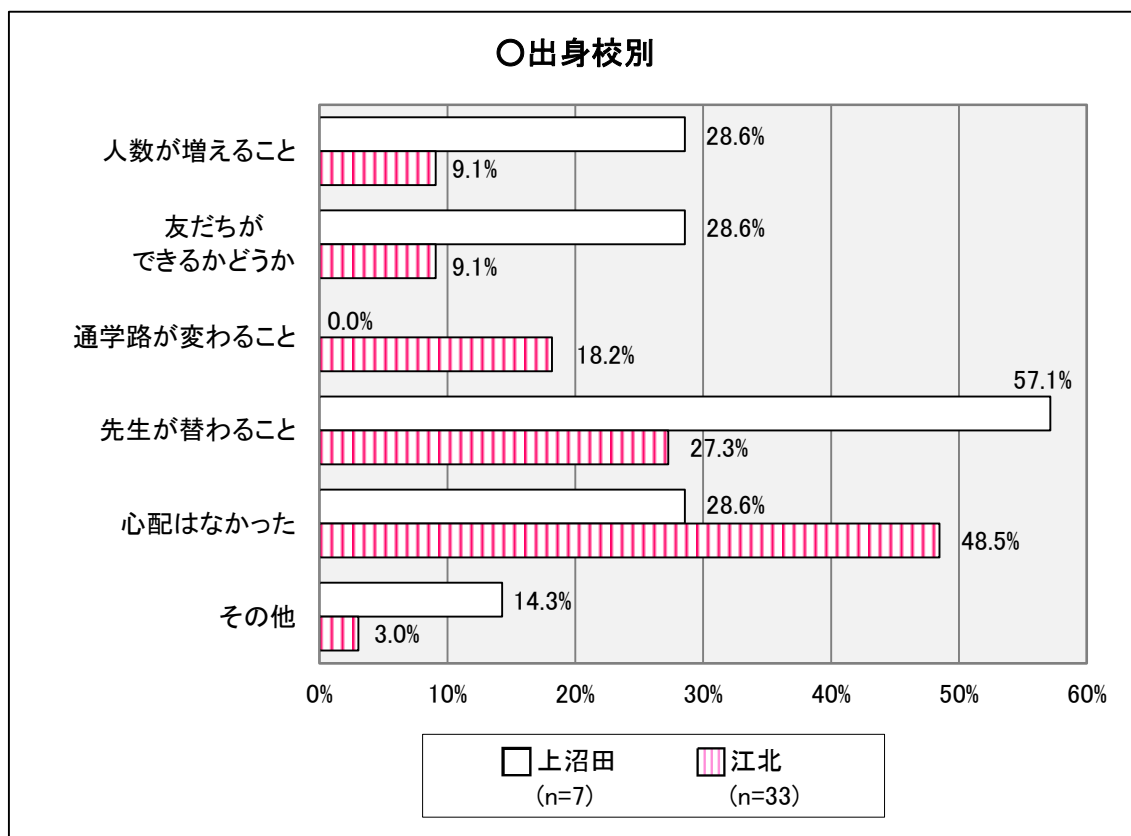


質問２ 学校が統合になるとき、お子様について心配だったことはありましたか。
(複数回答)

学校全体では、「心配はなかった」が 46.8%で最も多く、以降「先生が替わること」が 31.9%、「友だちができるかどうか」及び「通学路が変わること」が 14.9%となっています。また出身校別では、旧上沼田中学校の保護者は「先生が替わること」、旧江北中学校の保護者は「心配はなかった」が最も多くなっています。

	人数が増えること	友だちができるかどうか	通学路が変わること	先生が替わること	心配はなかった	その他	無記入
上沼田	2	2	0	4	2	1	0
江北	3	3	6	9	16	1	0
無記入	1	2	1	2	4	0	0
合 計	6	7	7	15	22	2	0
上沼田	28.6%	28.6%	0%	57.1%	28.6%	14.3%	0%
江北	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	48.5%	3.0%	0%
無記入	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	57.1%	0%	0%
合 計	12.8%	14.9%	14.9%	31.9%	46.8%	4.3%	0%





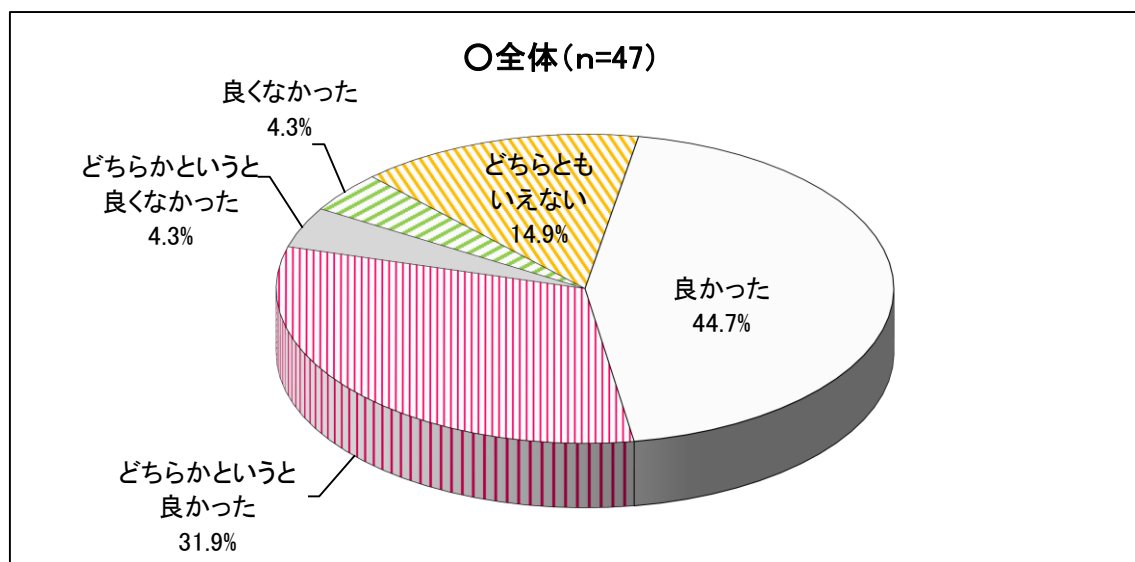
(その他自由意見)

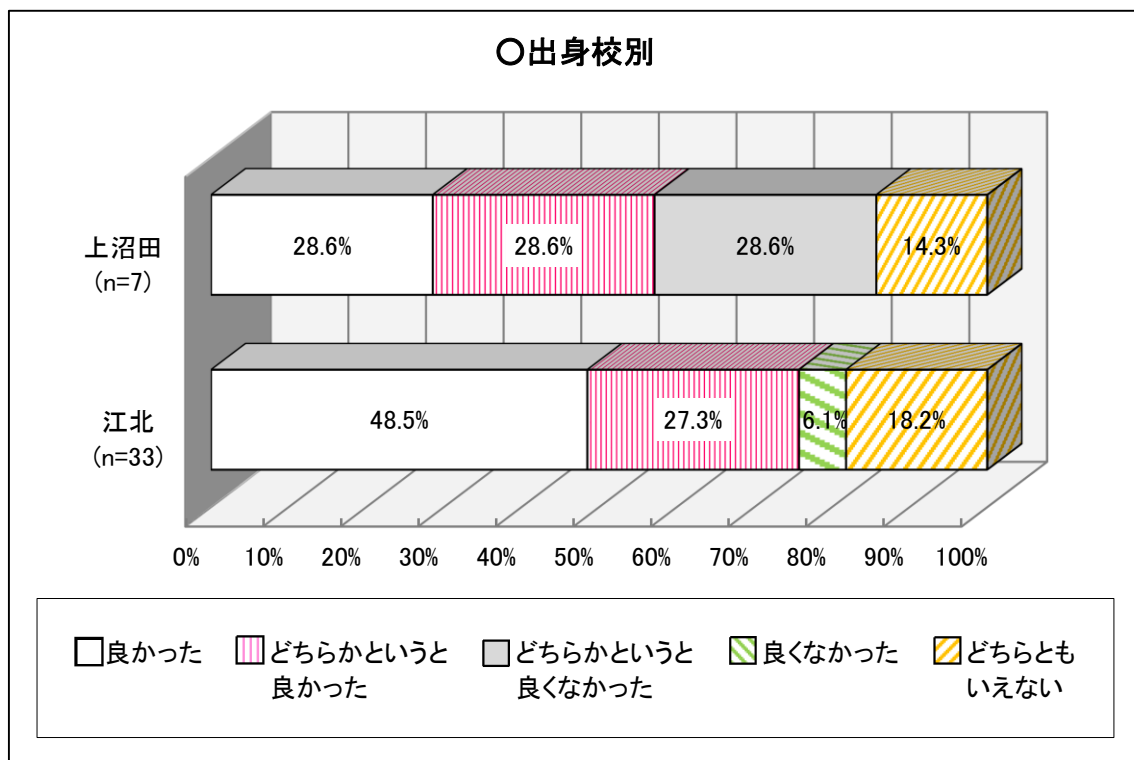
- ・子どもの学年はそれまで9人。統合後70人強。全体(学年)の中で、マイノリティになることで精神的に萎縮するのでは？と危惧していました。結果、杞憂に終わりました。
- ・通学路がかわるといふか、距離が長くなったことです。
- ・かんきょうそのものが変わる事。

質問3 学校が統合して生徒数が増えたことについて、どう思いますか。

学校全体では、「良かった」が44.7%で最も多く、以降「どちらかという良かった」31.9%、「どちらともいえない」14.9%となっています。また、出身校別では、「良かった」と「どちらかという良かった」を合わせた割合は、旧上沼田中学校の保護者は57.2%、旧江北中学校の保護者は75.8%になり、良かったと感じている保護者が多いことが伺えます。

	良かった	どちらか という 良かった	どちらか という 良くな かった	良くな かった	どちら とも いえ ない	無記入	合計
上沼田	2	2	2	0	1	0	7
江 北	16	9	0	2	6	0	33
無記入	3	4	0	0	0	0	7
合 計	21	15	2	2	7	0	47
上沼田	28.6%	28.6%	28.6%	0%	14.3%	0%	100%
江 北	48.5%	27.3%	0%	6.1%	18.2%	0%	100%
無記入	42.9%	57.1%	0%	0%	0%	0%	100%
合 計	44.7%	31.9%	4.3%	4.3%	14.9%	0%	100%

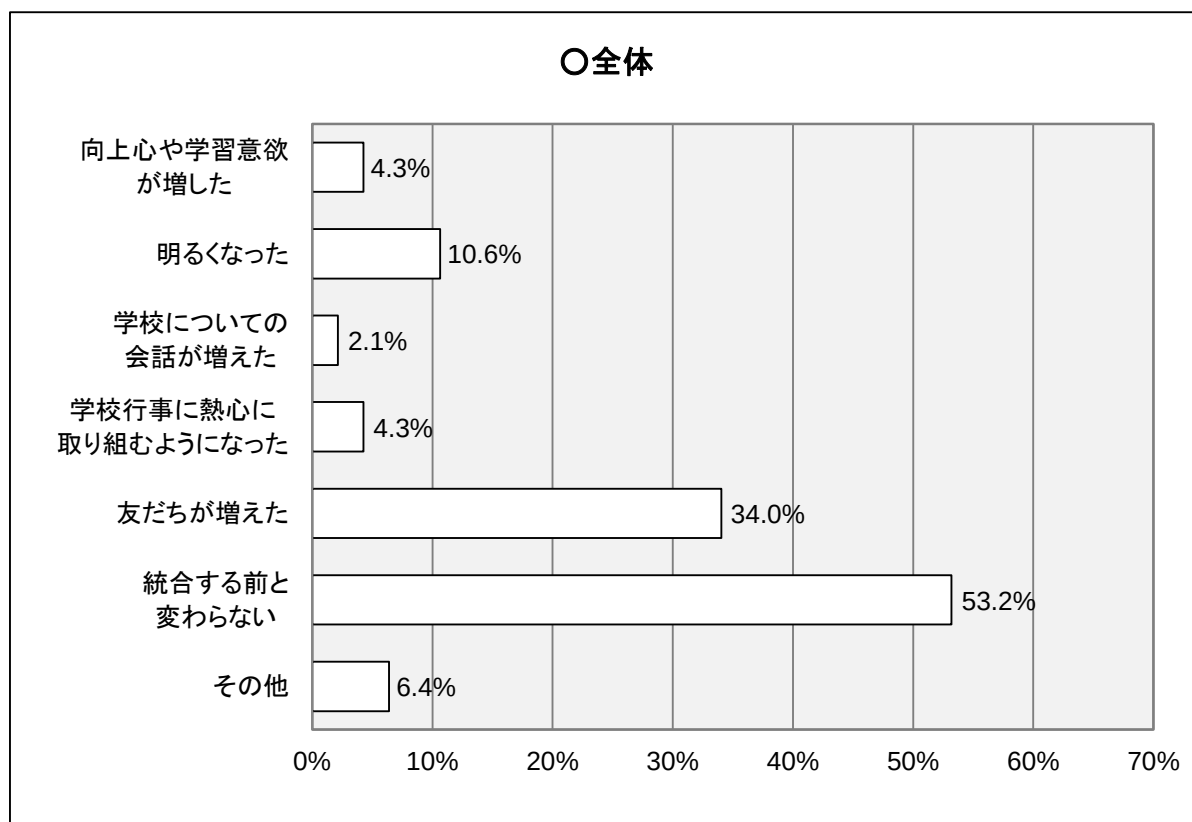


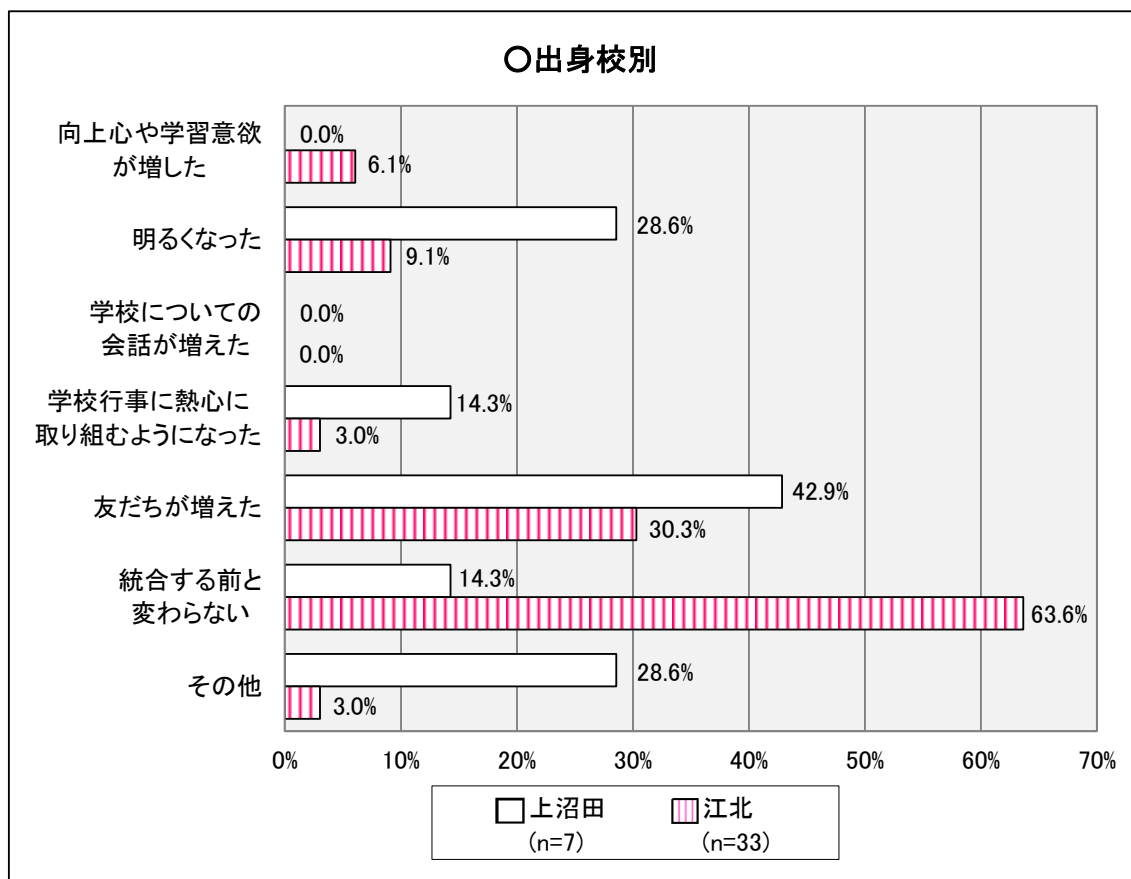


質問 4 学校が統合した後、お子様の様子に変化はありましたか。（複数回答）

学校全体では、「統合する前と変わらない」が 53.2%で最も多く、以降「友だちが増えた」34.0%、「明るくなった」10.6%の順となっています。過去のアンケートと比べて、「統合する前と変わらない」と答えた割合が高くなっているのが特徴的です。また出身校別では、旧上沼田中学校の保護者は「友だちが増えた」、「明るくなった」の順、旧江北中学校の保護者は「統合する前と変わらない」、「友だちが増えた」の順となっています。

	向上心や 学習意欲 が増した	明るくな った	学校につ いての会 話が増え た	学校行事 に熱心に 取り組む ようになった	友だちが 増えた	統合する 前と変わ らない	その他	無記入
上沼田	0	2	0	1	3	1	2	0
江 北	2	3	0	1	10	21	1	0
無記入	0	0	1	0	3	3	0	0
合 計	2	5	1	2	16	25	3	0
上沼田	0%	28.6%	0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0%
江 北	6.1%	9.1%	0%	3.0%	30.3%	63.6%	3.0%	0%
無記入	0%	0%	14.3%	0%	42.9%	42.9%	0%	0%
合 計	4.3%	10.6%	2.1%	4.3%	34.0%	53.2%	6.4%	0%





(その他自由意見)

- ・統合する前の方が学校生活を楽しんでいる気がした。イキイキしている感じがあった。
- ・心が不安定になった。言わなかったが、統合する事で、本人は色々と心配だったんだと思う。
- ・人数が増えた事で授業中のおしゃべりなど勉強に集中できない程、騒がしいときもあるように困っていた。

参考：鹿浜菜の花中学校の「学校の統合についてのアンケート」(平成29年12月実施)

対象：3年生保護者

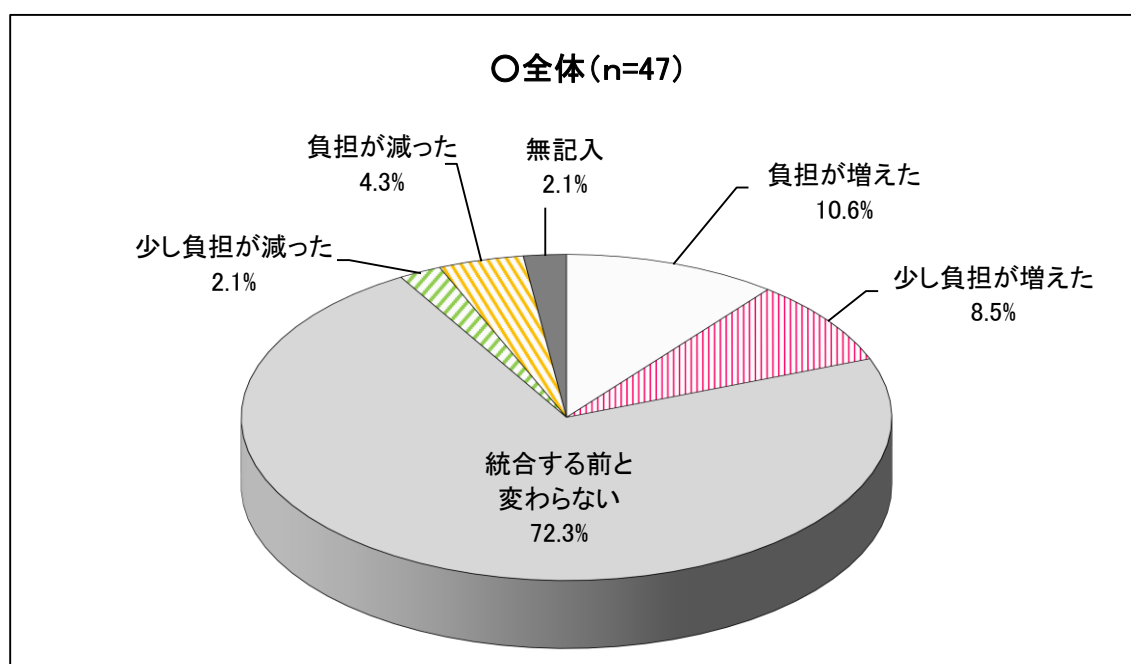
	学習意欲が増した	明るくなった	学校についての会話が 増えた	学校行事に熱心に取り組むようになった	友だちが増えた	統合する前と変わらない	その他	無記入
鹿浜 (n=19)	10.5%	0.0%	5.3%	0.0%	47.4%	26.3%	15.8%	5.3%
第八 (n=31)	0.0%	6.5%	3.2%	12.9%	45.2%	32.3%	29.0%	3.2%
無記入 (n=22)	9.1%	4.5%	18.2%	4.5%	50.0%	31.8%	9.1%	9.1%
合計 (n=72)	5.6%	4.2%	8.3%	6.9%	47.2%	30.6%	19.4%	5.6%

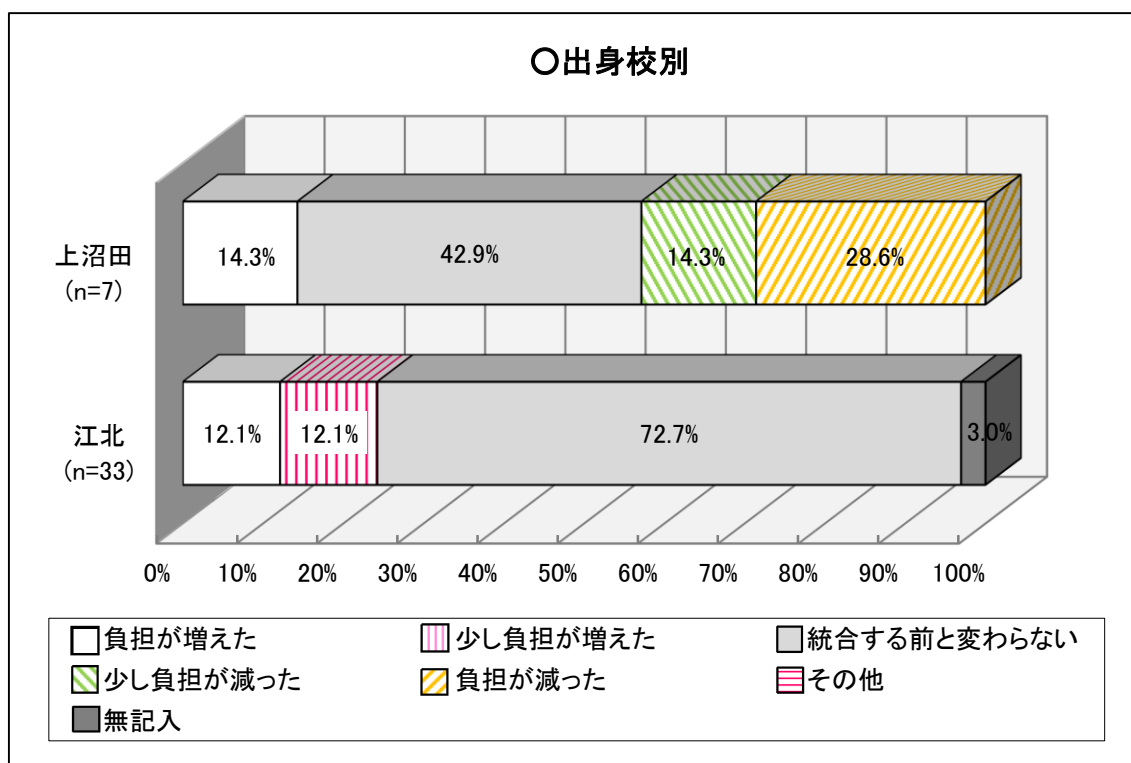
(複数回答)

質問5 統合前と比べて、統合後のPTA活動など学校に関わる活動について負担に変化はありましたか。

学校全体では、「統合する前と変わらない」が72.3%で最も多く、次いで「負担が増えた」10.6%、「少し負担が増えた」8.5%の順となっています。また出身校別でも、両校とも「統合する前と変わらない」が最も多くなっていますが、「少し」を含めた負担感の増減では、旧上沼田中学校の保護者は「減った」が多いのに対し、旧江北中学校の保護者は「増えた」が多くなっています。

	負担が増えた	少し負担が増えた	統合する前と変わらない	少し負担が減った	負担が減った	その他	無記入	合計
上沼田	1	0	3	1	2	0	0	7
江北	4	4	24	0	0	0	1	33
無記入	0	0	7	0	0	0	0	7
合計	5	4	34	1	2	0	1	47
上沼田	14.3%	0%	42.9%	14.3%	28.6%	0%	0%	100%
江北	12.1%	12.1%	72.7%	0%	0%	0%	3.0%	100%
無記入	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
合計	10.6%	8.5%	72.3%	2.1%	4.3%	0%	2.1%	100%





(その他自由意見)

- ・ 統合前にもう少し両校のPTA活動をきちんと話し合い、すべき事をきちんと決定してから統合した方が良いと思う。
- ・ あいさつ運動など。
- ・ 基本負担が多い(統合前から)。

質問6 その他に学校が統合して良かったことや困ったこと。

出身校	意見
上沼田	・先生方が優しく接してくださり、ちゃんと話を聞いてくれるので、親も子どもも安心できる。 ・少ない人数だったので、少し増えてよかった。 ・我が子は発達障害を抱えていたので、大規模校ではなく、超小規模校である上沼田中を選びました。発達障害、情緒障害など社会性やコミュニケーションに課題がある児童・生徒には「小規模校」の存在が必要だと思います。1学年200人の学校では埋もれてしまったり、手も目も心も行き届かないタイプの子も、1学年30人（～50人？）なら存在価値・存在意義が認められやすい環境になっています。個人的には統合＝合理化は大賛成なのですが、これからの子どもたちにとって「小さい学校」が消えていくことへの不安が残ります。
江 北	・担任の先生や栄養管理士の先生が替わらなかった為、アレルギー食などの管理がスムーズに行なえて、とても良かったです。 ・PTA活動も両校の良いところを活動に生かした事。 ・制服が変わってよかった。 ・江北中（元）だったのでほとんど周りの友達はかわらず両クラスに4～5名多くなるだけだったので心配はありませんでした。人数が増えた分、当然学年テストの順位などはさがったこともありましたがそれが良いほうに出てくやしいから頑張るきっかけになり3年生に入り順位も上がってきました。統合後は登下校の距離が長くなったことが心配というかマイナスでしたが、うちはそのくらいです。 ・通学時間が長くなり部活での再登校が大変だったように感じました。先生があまり変わらなかったのが良かったように感じました。 ・場所が遠くなるのに、短い時間での再登校など臨機応変に対応して欲しい。 ・体操着のデザインが良くない。そのため買い替えるにあたり旧の体操着を探して購入した。男女差なくと言うならば、ピンクが多いデザインって中学男子生徒の目線に立っての選択だったのでしょうか？新校舎の見学会を是非開催して欲しい。卒業前に。
無記入	・自宅から学校まで遠くなったので、再登校の時は、帰ってきてからすぐに家を出なければならない状態だったので大変そうでした。

コミュニケーションの教室（特別支援教室）

足立区では、2019、2020年度の2ヵ年ですべての中学校に「コミュニケーションの教室（特別支援教室）」を設置することにしました。

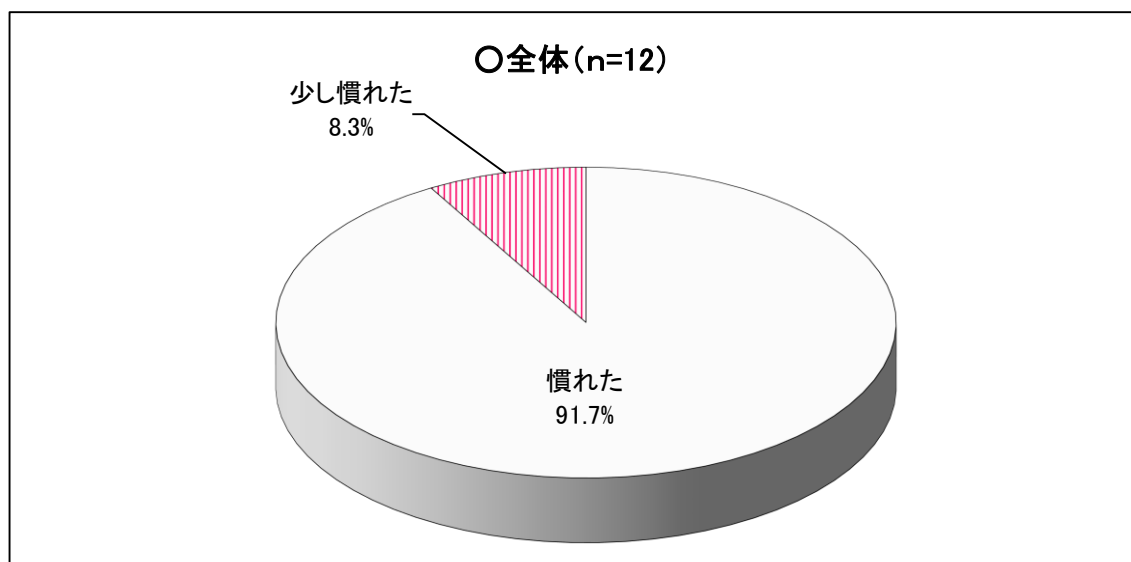
思うようにコミュニケーションが図れなかったり、相手の立場になって考えることが難しい生徒等に対して、自立活動の指導を行っていきます。困り感のある生徒へ分かりやすい授業を在籍学級で実施することで、すべての生徒にとって良い効果をもたらすことができます。

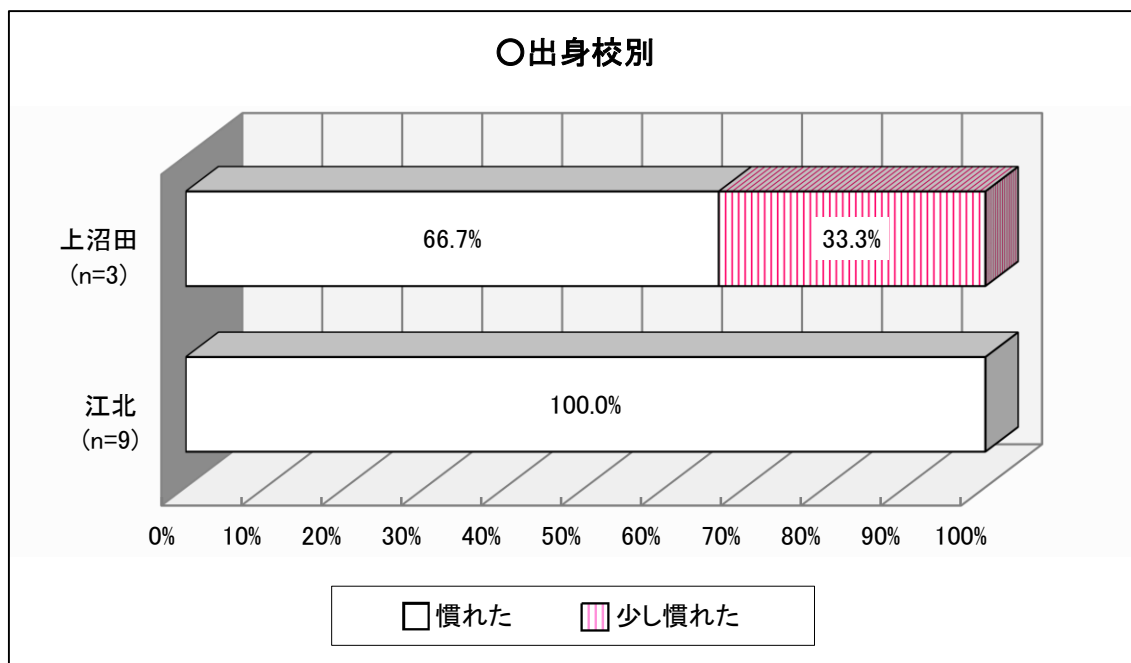
(4) 教員の調査結果

質問1 子どもたちは新しい学校に慣れたと思いますか。

学校全体では、「慣れた」が91.7%、「少し慣れた」が8.3%で、「まだ慣れていない」の回答はありませんでした。また出身校別で「慣れた」と回答した割合は、旧上沼田中学校が66.7%、旧江北中学校が100%となっています。

	慣れた	少し慣れた	まだ慣れていない	無記入	合計
上沼田	2	1	0	0	3
江北	9	0	0	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合計	11	1	0	0	12
上沼田	66.7%	33.3%	0%	0%	100%
江北	100%	0%	0%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合計	91.7%	8.3%	0%	0%	100%

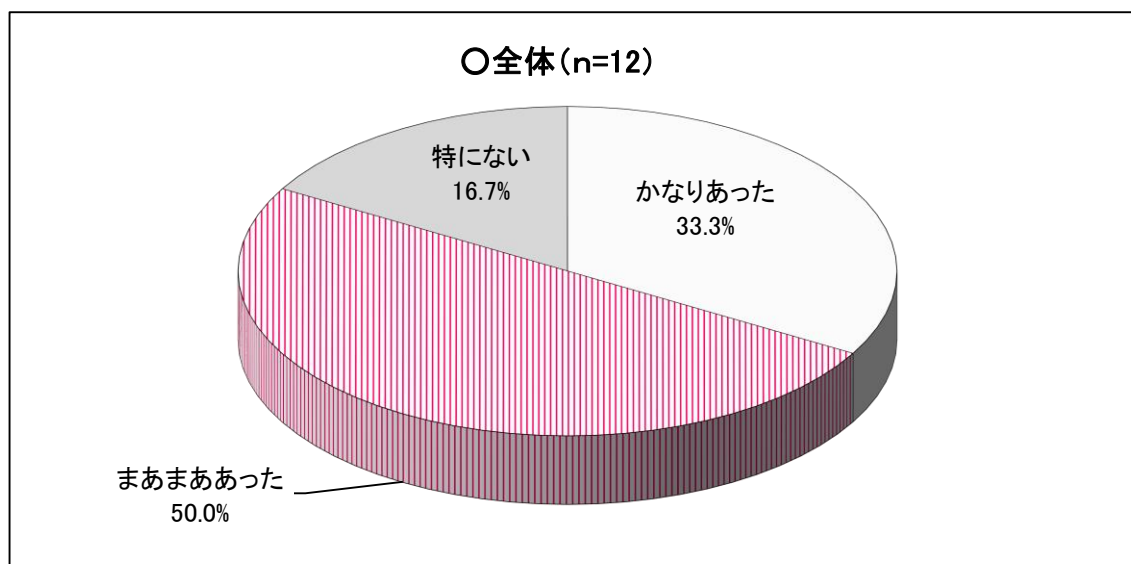


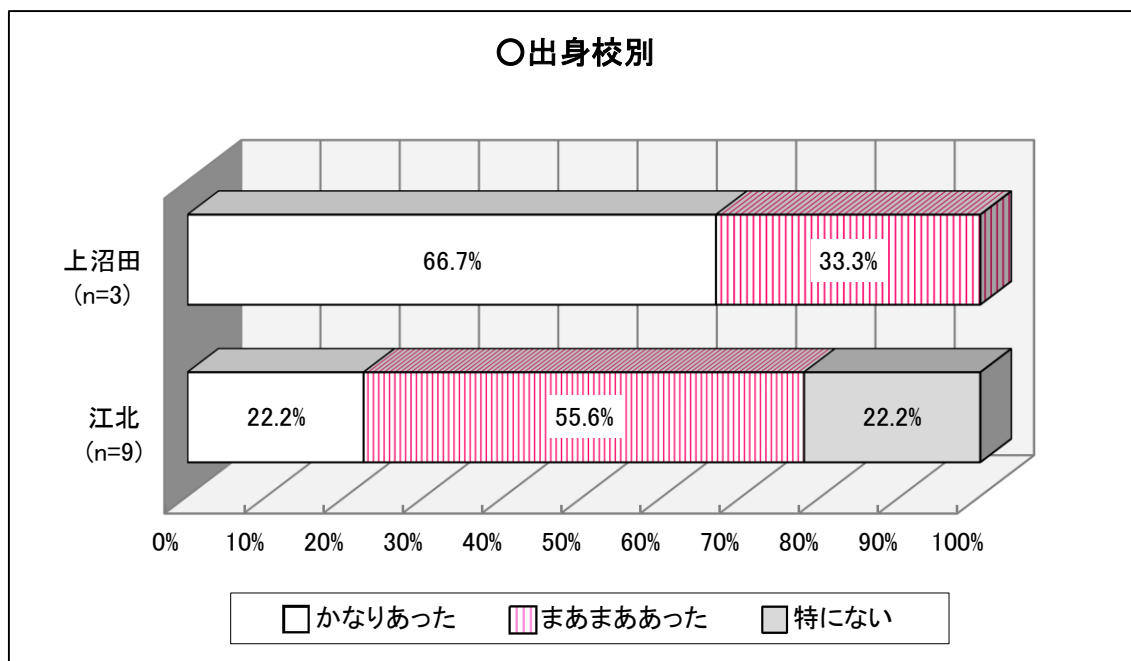


質問2 生徒数・学級数が増えたことで、子どもたちの学習活動に変化はありましたか。

学校全体では「まあまああった」が50.0%で最も多く、次に「かなりあった」が33.3%の順となっています。また出身校別では、旧上沼田中学校の教員は「かなりあった」が66.7%、「まあまああった」が33.3%なのに対し、旧江北中学校では「まあまああった」が55.6%、「かなりあった」及び「特にない」が22.2%となっています。

	かなりあった	まあまああった	特にない	無記入	合計
上沼田	2	1	0	0	3
江 北	2	5	2	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合 計	4	6	2	0	12
上沼田	66.7%	33.3%	0%	0%	100%
江 北	22.2%	55.6%	22.2%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合 計	33.3%	50.0%	16.7%	0%	100%



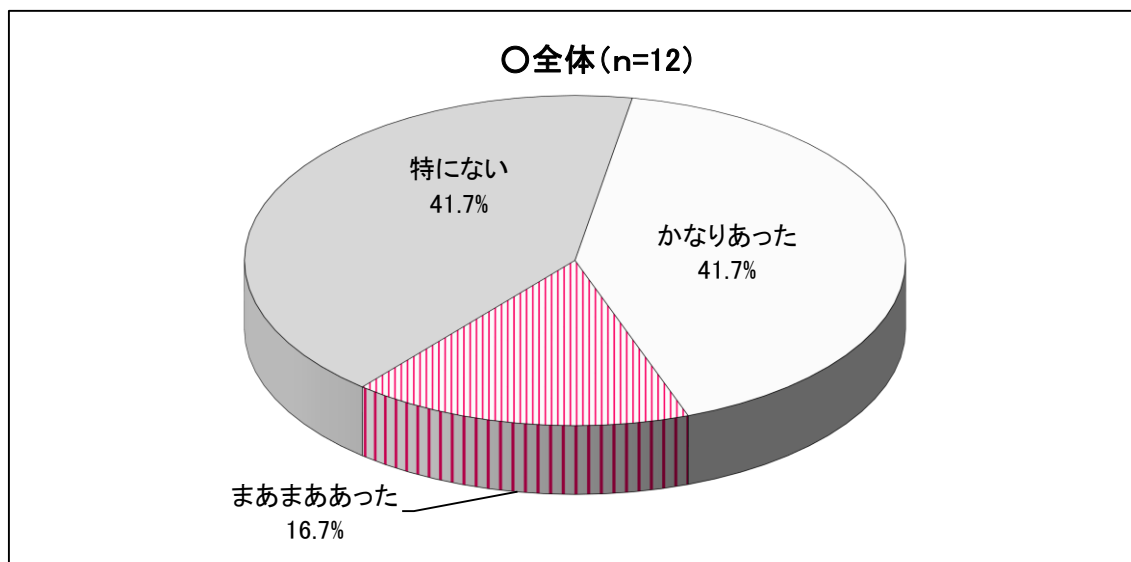


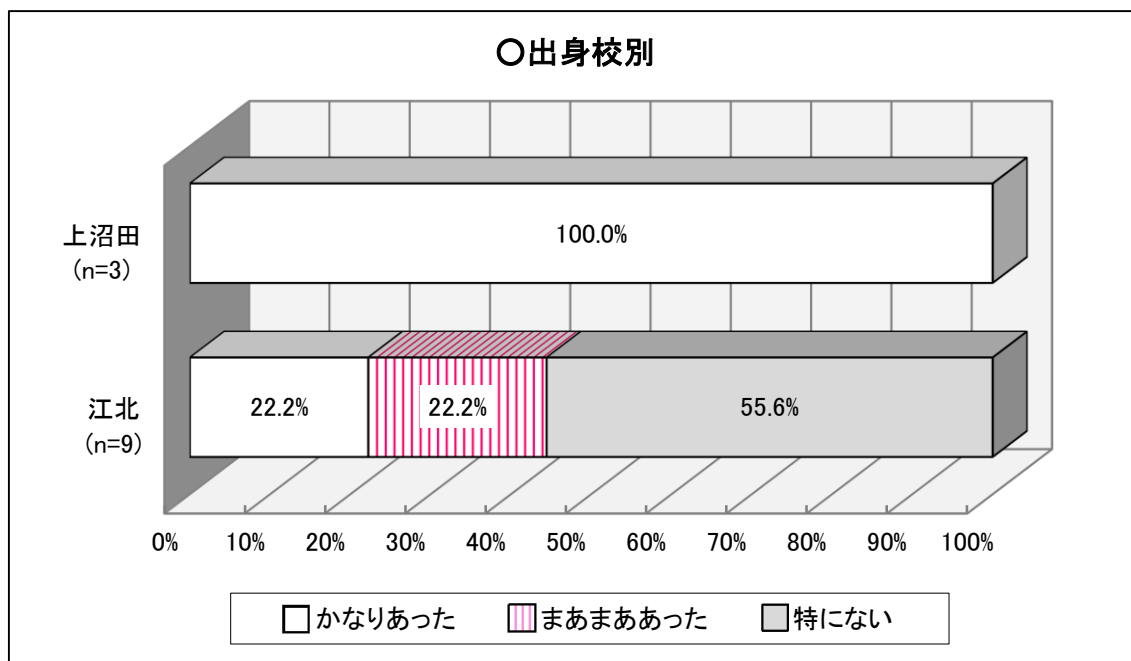
かなりあった	・授業中、様々な意見をきき、様々な考えがあることを知ったと思います。 ・生徒数が増え、個別指導的な学習ができなくなった。 ・1学年9名から77名に生徒数が増えたことにより、適応するのが難しい生徒がでた。 ・上沼田中にいた生徒の一部が生徒数増加の影響もあり不登校傾向になった。
まあまああった	・委員会や部活動などの縦割の集団活動が活発になった。 ・現在の高1の代は学年の1/3が上沼田、2/3が江北だったので、今までにない考え方を聞けるなど良い影響を与えあえたと思う。 ・クラスの在籍数が増え、授業時、個別指導がしづらくなった。 ・旧上沼田の生徒は人数が少なく、授業で行う種目が限定されていた様子。授業の進度が異なるため、生徒は困ったと思います。

質問3 生徒数・学級数が増えたことで、学校行事や生徒会活動での子どもたちの様子に変化はありましたか。

学校全体では、「かなりあった」及び「特にない」が41.7%、「まあまああった」が16.7%の順となっています。また出身校別では、旧上沼田中学校の教員は「かなりあった」が100%となっている一方で、旧江北中学校の教員は「特にない」が55.6%と最も多くなっています。

	かなりあった	まあまああった	特にない	無記入	合計
上沼田	3	0	0	0	3
江北	2	2	5	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合 計	5	2	5	0	12
上沼田	100%	0%	0%	0%	100%
江北	22.2%	22.2%	55.6%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合 計	41.7%	16.7%	41.7%	0%	100%



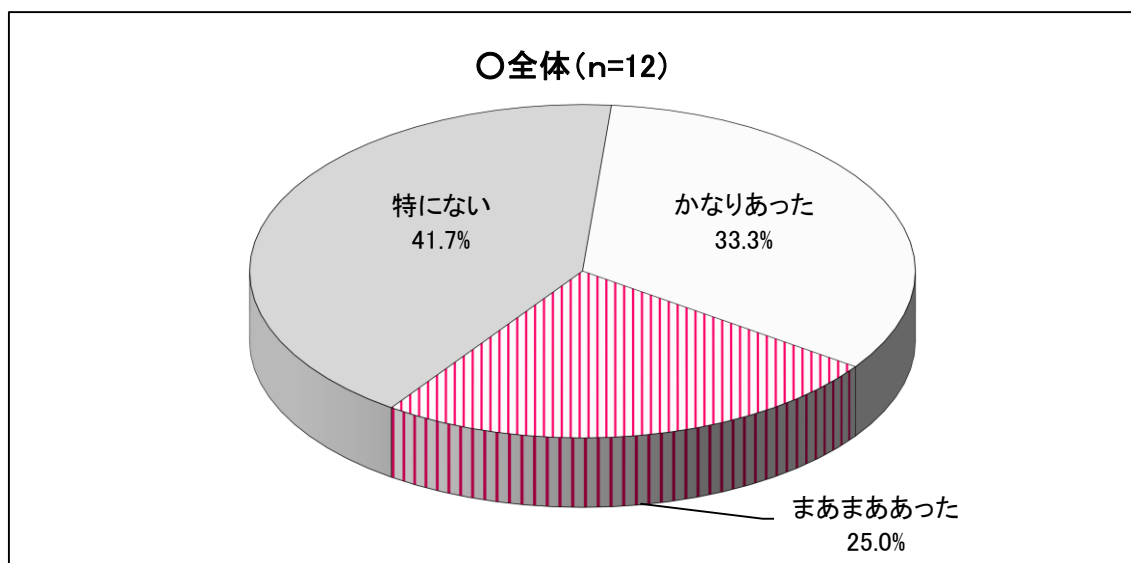


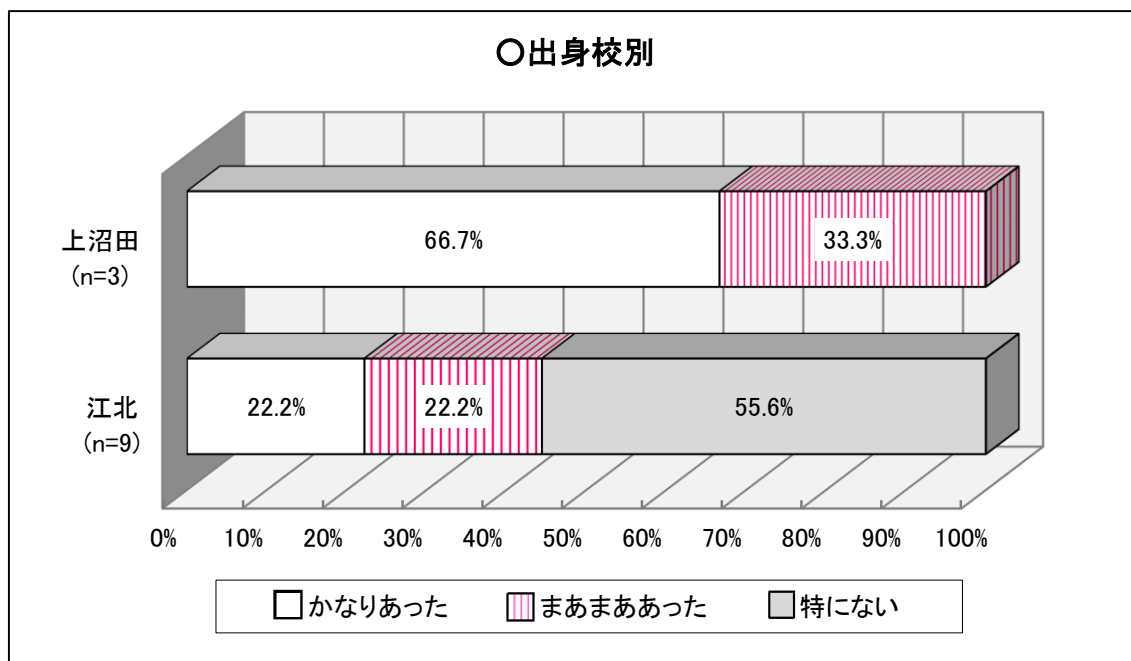
かなりあった	・両校で生徒の雰囲気異なっていたので、良い刺激になったと思う。 ・生徒数・学級数が増えクラス対抗で競うことができ、盛り上がった。 ・行事への取り組む姿勢。 ・出番や活躍する場が極端にへった。
まあまああった	・教員の比率が旧江北中の教員が多いため、どうしても旧江北中で行っていた内容になってしまった。

質問４ 生徒数・学級数が増えたことで、部活動での子どもたちの様子に変化はありましたか。

学校全体では、「特にない」が41.7%、「かなりあった」33.3%、「まあまああった」25.0%の順となっています。また出身校別では、旧上沼田中学校の教員が「かなりあった」と「まあまああった」を合わせた割合が100%となっているのが特徴的です。

	かなりあった	まあまああった	特にない	無記入	合計
上沼田	2	1	0	0	3
江 北	2	2	5	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合 計	4	3	5	0	12
上沼田	66.7%	33.3%	0%	0%	100%
江 北	22.2%	22.2%	55.6%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合 計	33.3%	25.0%	41.7%	0%	100%





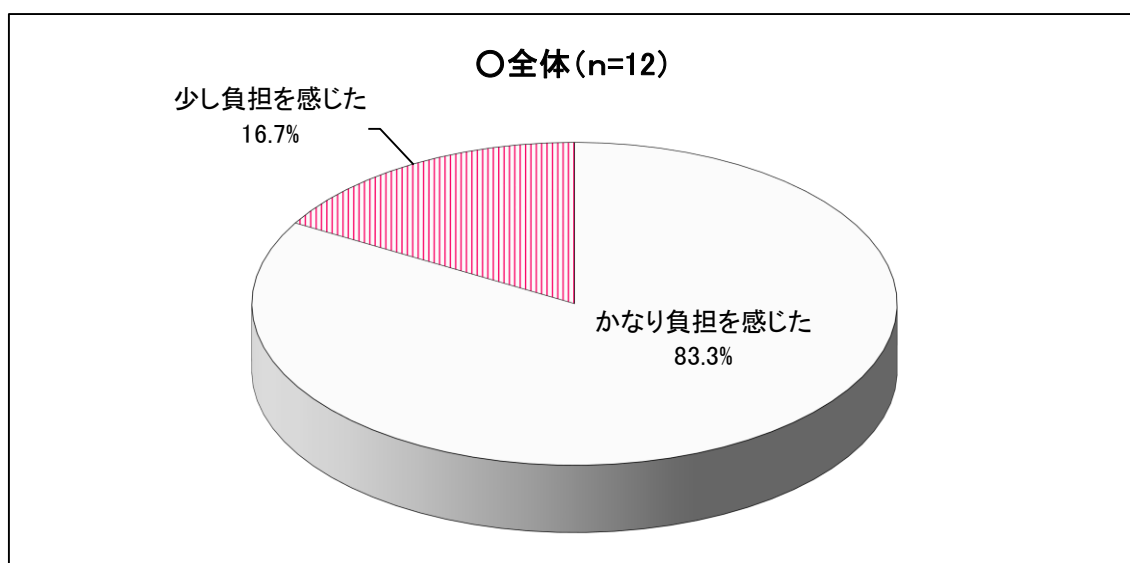
かなりあった	・ もともとお互い仲がよかったので更に盛り上がりを見せた。 ・ 活気が増え、さかんになった。 ・ 活発になった面がある。
まあまああった	・ 1つの学校にしかない部活は影響はなかったが、両校にあった場合はレギュラー等の問題がでていたのではないかと思います。 ・ 少人数だからできたが、大人数になると続けられなかった生徒がいました。
特にない	・ 初年度から両校の生徒が混ざりあうような部がほとんどなかったため。

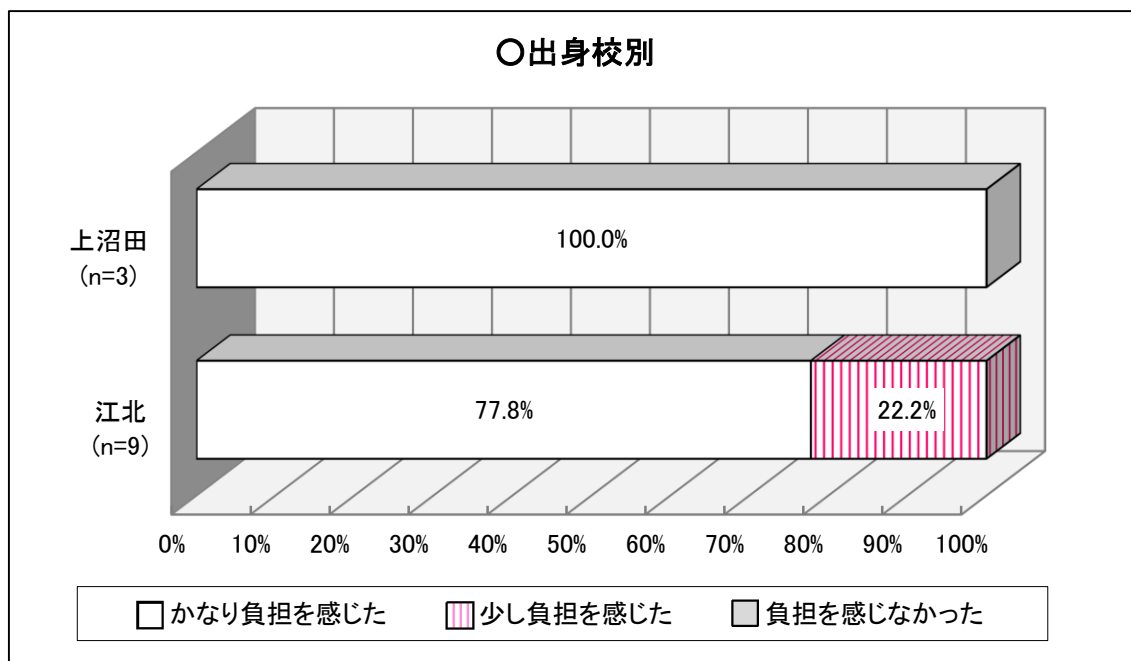
質問5 統合にあたって、教員の皆様に負担についてお伺いします。

○統合前

学校全体では、「かなり負担を感じた」が83.3%で最も多く、次いで「少し負担を感じた」が16.7%となっており、統合前に「負担を感じなかった」教員はいませんでした。

	かなり負担を感じた	少し負担を感じた	負担を感じなかった	無記入	合計
上沼田	3	0	0	0	3
江 北	7	2	0	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合 計	10	2	0	0	12
上沼田	100%	0%	0%	0%	100%
江 北	77.8%	22.2%	0%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合 計	83.3%	16.7%	0%	0%	100%



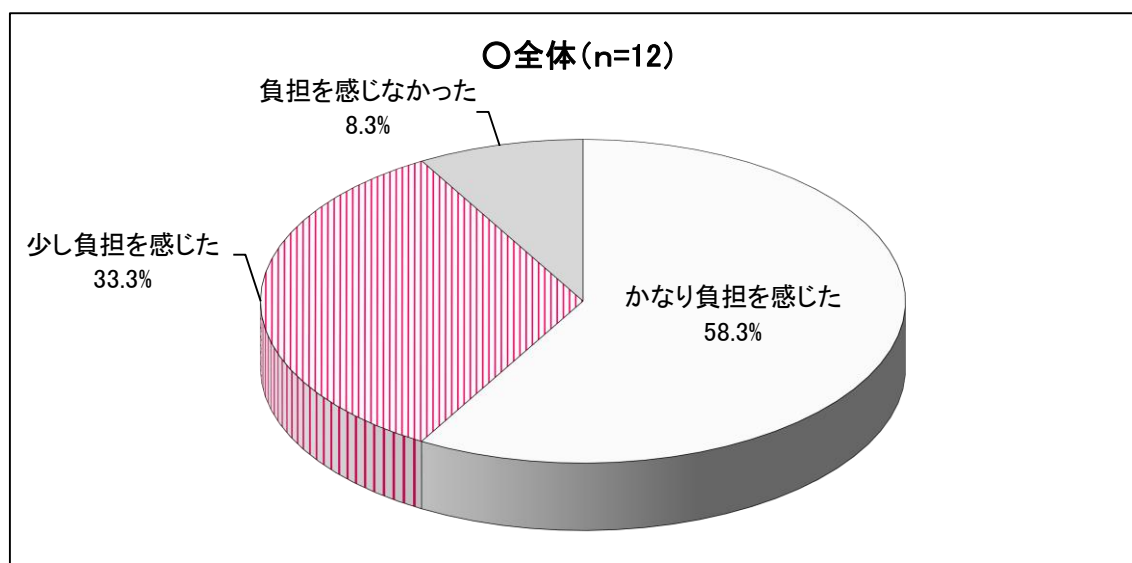


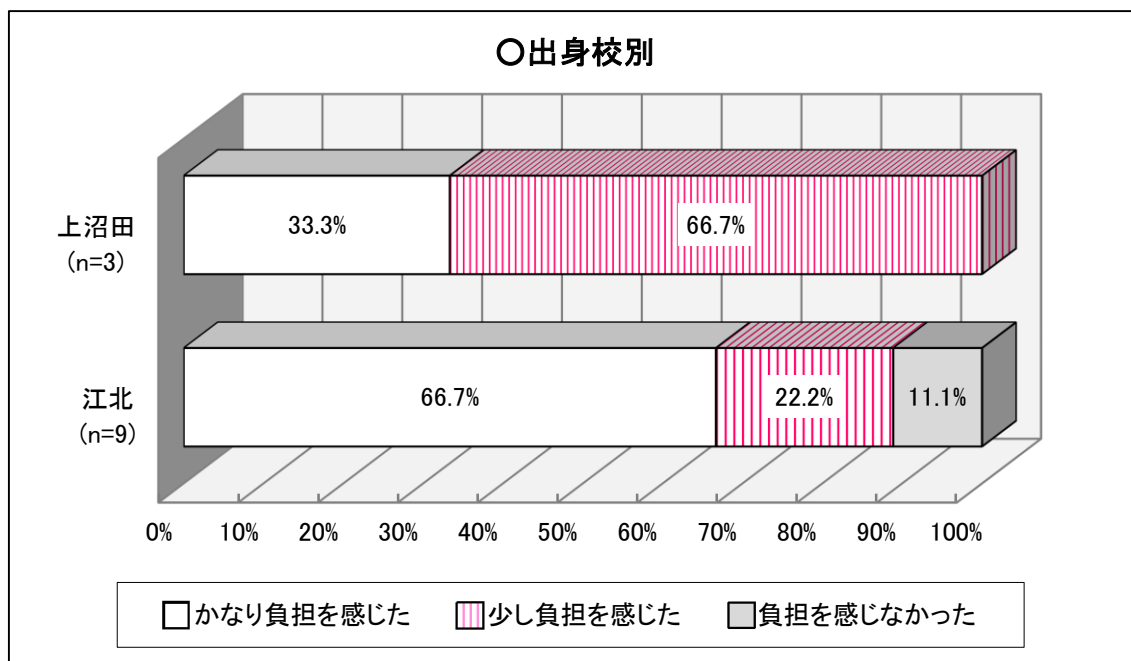
かなり負担を感じた	・ 備品関係。 ・ 片付けが大変だった。春休み期間の準備が大変だった。 ・ 生活のきまりなど新しく作る作業が大変であった。 ・ 引っ越しに伴う事務的な作業が非常に多く、本来の業務に支障が出た。
少し負担を感じた	・ 引っ越しの際、持っていくものや廃棄するものを考えなくてはならない。また新校舎で使う物品選び等、通常の業務+αの仕事のためメインで行った先生方は大変だったと思います。

○統合後

学校全体では、「かなり負担を感じた」が58.3%で最も多く、次いで「少し負担を感じた」が33.3%、「負担を感じなかった」が8.3%の順となっています。統合前に比べると「負担を感じなかった」割合が増えてはいますが、9割以上の教員が負担を感じています。

	かなり負担を感じた	少し負担を感じた	負担を感じなかった	無記入	合計
上沼田	1	2	0	0	3
江 北	6	2	1	0	9
無記入	0	0	0	0	0
合 計	7	4	1	0	12
上沼田	33.3%	66.7%	0%	0%	100%
江 北	66.7%	22.2%	11.1%	0%	100%
無記入	0%	0%	0%	0%	0%
合 計	58.3%	33.3%	8.3%	0%	100%





かなり負担を感じた	・ 新たな教室の教室整備と、教具・教材の準備。 ・ 特別教室の整備、分掌の仕事内容の統合、確認作業とその実施。
少し負担を感じた	・ それぞれの学校のやりかたがあるため、調整が難しかった。 ・ 文化や歴史が異なる学校が1つになることは、当然だがストレスや負担感につながる。

質問6 その他に学校が統合して良かったことや困ったこと。

意見
・新校舎になること。江北地区唯一の中学校のため、近隣小学校から全て入学予定であること。小・中連携で全ての小学校の先生方と連携することができたこと。以上が良かった点です。 ・江北中側としては、クラス数も変わらなかったもので、全体的な変化は感じられなかった。 ・通学時間がかかるようになり、負担が大きくなった生徒がでた。 ・学校で物品選定をほぼ0からスタートすることが大きな負担だった。あらかじめ予算内で物品を決めてもらった上で、教科の専門性等を踏まえて追加・交換という形はとれなかったのか。 ・それぞれの学校の良さを活かしきれていない。ひとつひとつの行事、取り組みへの共通理解をはかる、1つ1つの行事を作ることに時間がかかる。新校舎への移転も同じ心配がある。1+1=2になっていて、その精選がやりにくい。不登校（なじめない）生徒への対応。学年9人→77人、9人→39人への変化はやはり大きいと思います。

平成31年2月発行

発行 足立区教育委員会

編集 足立区教育委員会事務局

学校運営部 学校適正配置担当課

東京都足立区中央本町一丁目17番1号

電話：03-3880-5426（直通）

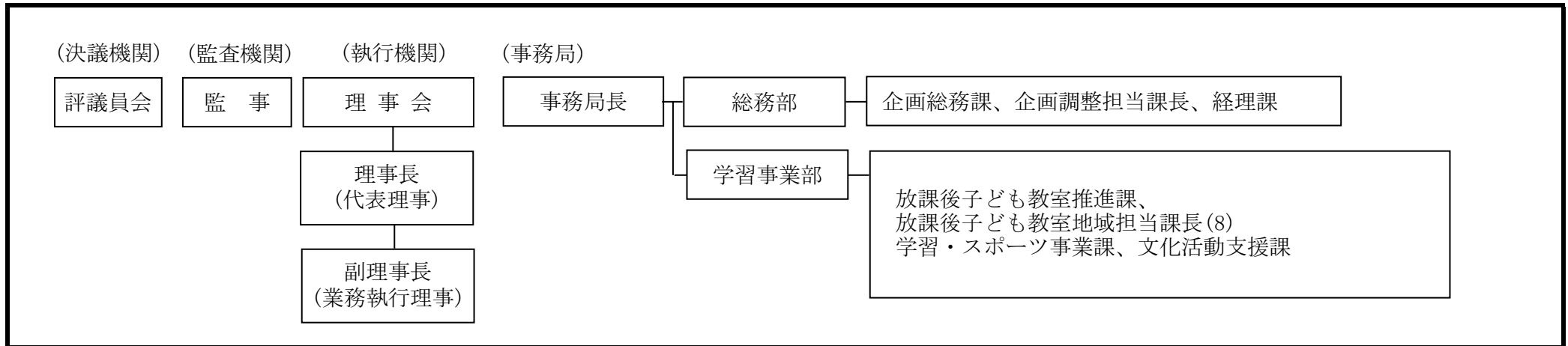
2019年度（平成31年度）公社事業概要・収支予算説明書

1 概要説明

2019年4月1日現在

名 称	公益財団法人足立区生涯学習振興公社	所 在 地	足立区千住五丁目13番5号
設 立 年 月 日 公 益 認 定	平成5年2月1日(平成12年4月1日名称変更) 平成21年10月1日公益財団法人	代 表 者	理 事 長 亀村 精一
職員数(定数)	常勤29名(派遣7名、固有22名) 非常勤13名 合計42名	基 本 財 産	15 億 円

2 組織機構



3 2019年度（平成31年度）経営方針と重点事項

【経営方針】

区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行う。公社がこれまで展開してきた区民との協働による事業や学びの成果を地域に還元する事業を進化させ、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進する。「公社中期事業計画」に基づき、事業の重点化と効率化を徹底し、区の施策との連携を深め、区民サービスの向上に努める。

【重点事項】

- 1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。
- 2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。
- 3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

【 】2019 年度(平成31年度)事業計画数 <>平成 30 年度事業計画数

あだち放課後子ども教室事業

(1)あだち放課後子ども教室の支援(区受託)

①安定運営の支援 【通年】《通年》

(2)『放課後＋One』(放課後子ども教室における体験プログラム)

(ア)地域人材活用・体験プログラム

・放課後キッズおりがみ教室(25 校) 【200回/3,000 人】《192回》

・放課後キッズ読書支援(2校) 【16回/160人】《16回》

(イ)団体連携・体験プログラム

・フラッグ鬼ごっこ(2 校) 【20回/500人】《15回》

・スポーツスタッキング教室(8 校) 【40回/800人】《40回》

・ミニコンサート&楽器体験(8 校) 【8回/240人】《8回》

・どうぶつしょうぎ教室(6 校) 【12回/240人】《12回》

・工作「ハンズヒントクラブ」(1校) 【1回/30人】《1回》

・「おもちゃ講座」(1校) 【1回/20人】《1回》

・将棋教室(2 校) 【16回/320人】《16回》

・ビブリオバトル(3 校) 【7回/105人】《7回》

(ウ)公社企画・体験プログラム 【8種目/87校】《7種目》

(3)安全管理講習会(応急手当実技/区受託)【69回/1,035 人】《69回》

(4)新任安全管理講習会(応急手当実技/区受託) 【3回】《3回》

(5)安全管理員研修会 【5回/300人】《6回》

(6)運営委員会 【1回】《1回》

(7)ブロック会議 【13回】《13回》

(8)「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成 【随時】《随時》

(9)「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成 【随時】《随時》

文化事業

(1)あだちアートリンクカフェ 【6回/130人】《6回》

(2)あだちアートリンクカフェ公開講座 【1回/300人】《2回》

(3)実践！アウトリーチ講座 【1回/15人】《1回》

(4)文化団体等支援 【6回】《7回》

(5)イベントコーディネート事業 【随時】《随時》

(6)楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(区受託)

【108 回/12,750 人】《110 回》

(7)足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬) 【4回】《4回》

(8)コンサートinミュージアム 【5回/250人】《5回》

(9)小学校アウトリーチコンサート(4校) 【12回/300人】《12回》

(10)子ども未来応援アウトリーチコンサート 【1回/100人】《2回》

生涯学習・スポーツ事業

(1)あだちこどもサポーター養成講座 【4回/84人】《4回》

(2)あだちこどもサポータースキルアップ講座 【4回/86人】《3回》

(3)あだちこどもサポーターフォロー講座 【2回/60人】《2回》

(4)あだちこどもサポーター活動支援 【随時】《随時》

(5)あだちこどもサポーターネットワーク支援 【10回/170人】《10回》

(6)(7)スポーツ指導者スキルアップ講習会(区受託)

・運動機能向上のためのトレーニング(高齢者) 【4回/120人】《4回》

・運動あそびと体力向上トレーニング(子ども) 【4回/120人】《4回》

(8)健康づくり・スポーツ活動支援講座 【2回/80人】《2回》

(9)地域活動支援講座 【2回/60人】《2回》

(10)地域学習コーディネート事業 【随時】《随時》

(11)読み語りキャラバン隊によるおはなし会 【5回/250人】《5回》

広報事業

(1)公社ニュース「ときめき」での自主事業等情報発信 【12回】《12回》

(2)公社ホームページによる情報提供事業 【通年】《通年》

5 収支予算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1 経常増減の部

(1) 経常収益

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	比 較 増 減 理 由
基本財産運用益				低金利による利息収入の減
基本財産受取利息 (1)	10,950,000	11,771,000	▲ 821,000	
基本財産運用益計 (2)	10,950,000	11,771,000	▲ 821,000	
特定資産運用益				
特定資産受取利息 (3)	725,000	715,000	10,000	
特定資産運用益計 (4)	725,000	715,000	10,000	
その他固定資産運用益				放課後子ども教室スタッフ謝礼単価改定による増
その他固定資産受取利息 (5)	60,000	30,000	30,000	
その他固定資産運用益計 (6)	60,000	30,000	30,000	
事業収益				
自主事業収益 (7)	0	0	0	
受託事業収益 (8)	248,270,000	224,970,000	23,300,000	
事業収益計 (9)	248,270,000	224,970,000	23,300,000	受取補助金等収益／固有職員の定期昇給等による、給料手当が増加したことによる増 人件費・公社管理運営費に対する足立区からの補助金 322,101,000 ア 人件費補助 8,466,000 (派遣職員・再任用職員 共済事業主負担等) イ 公社管理運営費補助 313,635,000 (固有職員・非常勤職員等 給料手当・賃金・社会保険事業主負担・事務局運営経費等)
受取補助金等収益				
受取区補助金 (10)	322,101,000	318,844,000	3,257,000	
受取助成金 (11)	0	0	0	
受取補助金等収益計 (12)	322,101,000	318,844,000	3,257,000	
雑収益				
受取利息 (13)	200,000	36,000	164,000	
雑収益 (14)	0	0	0	
雑収益計 (15)	200,000	36,000	164,000	
経常収益計 (16)	582,306,000	556,366,000	25,940,000	

(2) 経常費用

公益目的事業会計

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	比 較 増 減 理 由
事業費				
役員報酬	〈17〉 3,775,000	3,697,000	78,000	給与改定による増
給料手当	〈18〉 178,982,000	167,702,000	11,280,000	定期昇給等により給料手当が増加したことによる増
福利厚生費	〈19〉 41,365,000	41,575,000	▲ 210,000	非常勤部長から再任用部長に変更になり、給与は区で支払われることによる減
退職給付費用	〈20〉 17,734,000	17,568,000	166,000	退職手当規程改定後、固有職員の給与単価に合わせて計算した結果の増
賃金	〈21〉 29,276,000	33,059,000	▲ 3,783,000	非常勤部長から再任用部長に変更になり、給与は区で支払われることによる減
会議費	〈22〉 170,000	168,000	2,000	
旅費交通費	〈23〉 318,000	177,000	141,000	実績にあわせて計上したことによる増
通信運搬費	〈24〉 1,436,000	1,330,000	106,000	区受託事業足立ジュニア吹奏楽団30周年事業楽器運搬費を計上したことによる増
什器備品費	〈25〉 210,000	210,000	0	
消耗品費	〈26〉 6,962,000	4,904,000	2,058,000	放課後子ども教室体験プログラムの拡大による増
修繕費	〈27〉 565,000	473,000	92,000	区受託事業足立ジュニア吹奏楽団使用の楽器修繕の増
印刷製本費	〈28〉 100,000	100,000	0	
賃借料	〈29〉 1,168,000	83,000	1,085,000	放課後子ども教室スタッフ謝礼システムソフト及びPCリース料による増
保険料	〈30〉 2,620,000	4,620,000	▲ 2,000,000	放課後子ども教室スタッフ等の傷害及び賠償責任保険の前年度実績による減
租税公課	〈31〉 170,000	220,000	▲ 50,000	当年度消費税納付分
諸謝金	〈32〉 235,617,000	211,971,000	23,646,000	放課後子ども教室スタッフ謝礼単価改定による増
委託費	〈33〉 9,681,000	10,916,000	▲ 1,235,000	第6期システム導入に伴う公社ホームページ新規構築委託分の減
負担金	〈34〉 316,000	0	316,000	法人会計から公益目的事業会計に組み替えたことによる増
交付金	〈35〉 6,800,000	6,800,000	0	
事業費(公益目的事業会計)経常費用計	〈36〉 537,265,000	505,573,000	31,692,000	

(2) 経常費用

収益事業等会計

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	比 較 増 減 理 由
事業費				
役員報酬 <37>	0	0	0	
給料手当 <38>	0	0	0	
福利厚生費 <39>	0	0	0	
退職給付費用 <40>	0	0	0	
賃金 <41>	0	0	0	
会議費 <42>	0	0	0	
旅費交通費 <43>	0	0	0	
通信運搬費 <44>	0	0	0	
什器備品費 <45>	0	0	0	
消耗品費 <46>	0	0	0	
修繕費 <47>	0	0	0	
印刷製本費 <48>	0	0	0	
賃借料 <49>	0	0	0	
保険料 <50>	0	0	0	
租税公課 <51>	0	0	0	
諸謝金 <52>	0	0	0	
委託費 <53>	0	0	0	
負担金 <54>	0	0	0	
交付金 <55>	0	0	0	
事業費(収益事業等会計)経常費用計<56>	0	0	0	

(2) 経常費用

法人会計

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	比 較 増 減 理 由
管理費				
役員報酬	〈57〉 1,018,000	1,010,000	8,000	
給料手当	〈58〉 17,702,000	16,586,000	1,116,000	定期昇給等により給与単価がアップしたことによる増
福利厚生費	〈59〉 5,311,000	5,313,000	▲ 2,000	
退職給付費用	〈60〉 1,695,000	1,674,000	21,000	
賃金	〈61〉 2,669,000	3,018,000	▲ 349,000	非常勤部長から再任用部長に変更になり、給与は区で支払われることによる減
会議費	〈62〉 22,000	22,000	0	
旅費交通費	〈63〉 249,000	198,000	51,000	実績にあわせて計上したことによる増
通信運搬費	〈64〉 2,104,000	1,943,000	161,000	第6期システム回線使用料の増
消耗品費	〈65〉 1,000,000	1,398,000	▲ 398,000	破損等のオフィス用椅子の入れ替え購入が済んだことによる減
修繕費	〈66〉 124,000	124,000	0	
光熱水費	〈67〉 2,770,000	2,770,000	0	
賃借料	〈68〉 8,316,000	7,512,000	804,000	第6期システム機器リース分の増
保険料	〈69〉 320,000	320,000	0	
租税公課	〈70〉 50,000	50,000	0	
諸謝金	〈71〉 1,658,000	1,646,000	12,000	
委託費	〈72〉 5,760,000	12,172,000	▲ 6,412,000	第6期システム開発経費分及び運用保守委託の減
負担金	〈73〉 324,000	386,000	▲ 62,000	法人会計から公益目的事業会計に組み替えたことによる減
交際費	〈74〉 55,000	55,000	0	
燃料費	〈75〉 256,000	214,000	42,000	ガソリン単価が上がったことによる増
管理費(法人会計)経常費用計	〈76〉 51,403,000	56,411,000	▲ 5,008,000	

経常費用計

	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	計 上 概 要
事業費(公益目的事業会計)経常費用計	〈77〉 537,265,000	505,573,000	31,692,000	
事業費(収益事業等会計)経常費用計	〈78〉 0	0	0	
事業費経常費用計	〈79〉 537,265,000	505,573,000	31,692,000	
管理費(法人会計)経常費用計	〈80〉 51,403,000	56,411,000	▲ 5,008,000	
管理費経常費用計	〈81〉 51,403,000	56,411,000	▲ 5,008,000	
経常費用計	〈82〉 588,668,000	561,984,000	26,684,000	

I 一般正味財産増減の部

2 経常外増減の部

公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

(1) 経常外収益

単位：円

(2) 経常外費用

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	計 上 概 要
(1) 経常外収益 <83>	0	0	0	
経常外収益計 <84>	0	0	0	
(2) 経常外費用 <85>	0	1,051,000	▲ 1,051,000	
経常外費用計 <86>	0	1,051,000	▲ 1,051,000	

他会計振替額

当期一般正味財産増減額

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	計 上 概 要
他会計振替額 <87>	0	0	0	当期一般正味財産増減額 ▲ 6,362,000 公益目的事業会計の一般正味財産増減 ▲ 6,496,000 法人会計の一般正味財産増減額 134,000
当期一般正味財産増減額 <88>	▲ 6,362,000	▲ 6,669,000	307,000	
一般正味財産期首残高 <89>	265,505,842	268,520,918	▲ 3,015,076	
一般正味財産期末残高 <90>	259,143,842	261,851,918	▲ 2,708,076	

II 指定正味財産増減の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	計 上 概 要
当期指定正味財産増減額 <91>	0	0	0	
指定正味財産期首残高 <92>	1,500,000,000	1,500,000,000	0	
指定正味財産期末残高 <93>	1,500,000,000	1,500,000,000	0	

III 正味財産期末残高

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	計 上 概 要
正味財産期末残高 <94>	1,759,143,842	1,761,851,918	▲ 2,708,076	

2019 年度(平成31年度)

事業計画書



放課後子ども教室 読書の通帳



スペシャルおはなし会 読み語りキャラバン



足立ジュニア吹奏楽団 クリスマスコンサート



放課後子ども教室 おり紙サポーターの活動



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

足立区では基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」としている。また、足立区教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業を協創による事業に進化させることに取り組むとともに、学びの成果を地域に還元する事業を展開することに努めてきた。今後とも、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」を進めていく。

特に、子どもたちが第3の大人と出会う場、多様な体験ができる場である「あだち放課後子ども教室」では、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。

また、学習・スポーツ・文化事業については、区民の主体的な活動を促すことを目的として、生涯学習を担う人材の育成と地域における自主的な活動を支援する事業を中心に展開し、活力ある地域社会の形成に寄与していく。

平成31年度の事業計画及び予算編成にあたっては、平成27年度に策定した「公社中期事業計画」に基づき、今後の公社職員の減員と自主財源の減少を見据え、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区の施策との連携を深め、事業の実施効果を上げていく。

重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

（1）全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

（2）放課後子ども教室体験プログラムの実現

「足立区放課後子ども総合プラン」^{*}を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化に取り組む。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

^{*}「足立区放課後子ども総合プラン」：文部科学省と厚生労働省が平成26年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が平成27年度に策定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大や、校内および隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを目指す計画

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

(1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に組み込むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

(2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場で還元して様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

(3) 新たな文化の創造

文化面では、“ネットワーク”と“アウトリーチ”をキーワードに、新たな文化を創造しようとする区民やアーティスト等を緩やかにつなぎ、多様な文化活動の創出を図る。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 亀村 精一

職 員 数 42名（定数） 常勤29名（派遣7名、固有22名）、非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <http://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図

（決議機関）

評議員会

（監査機関）

監 事

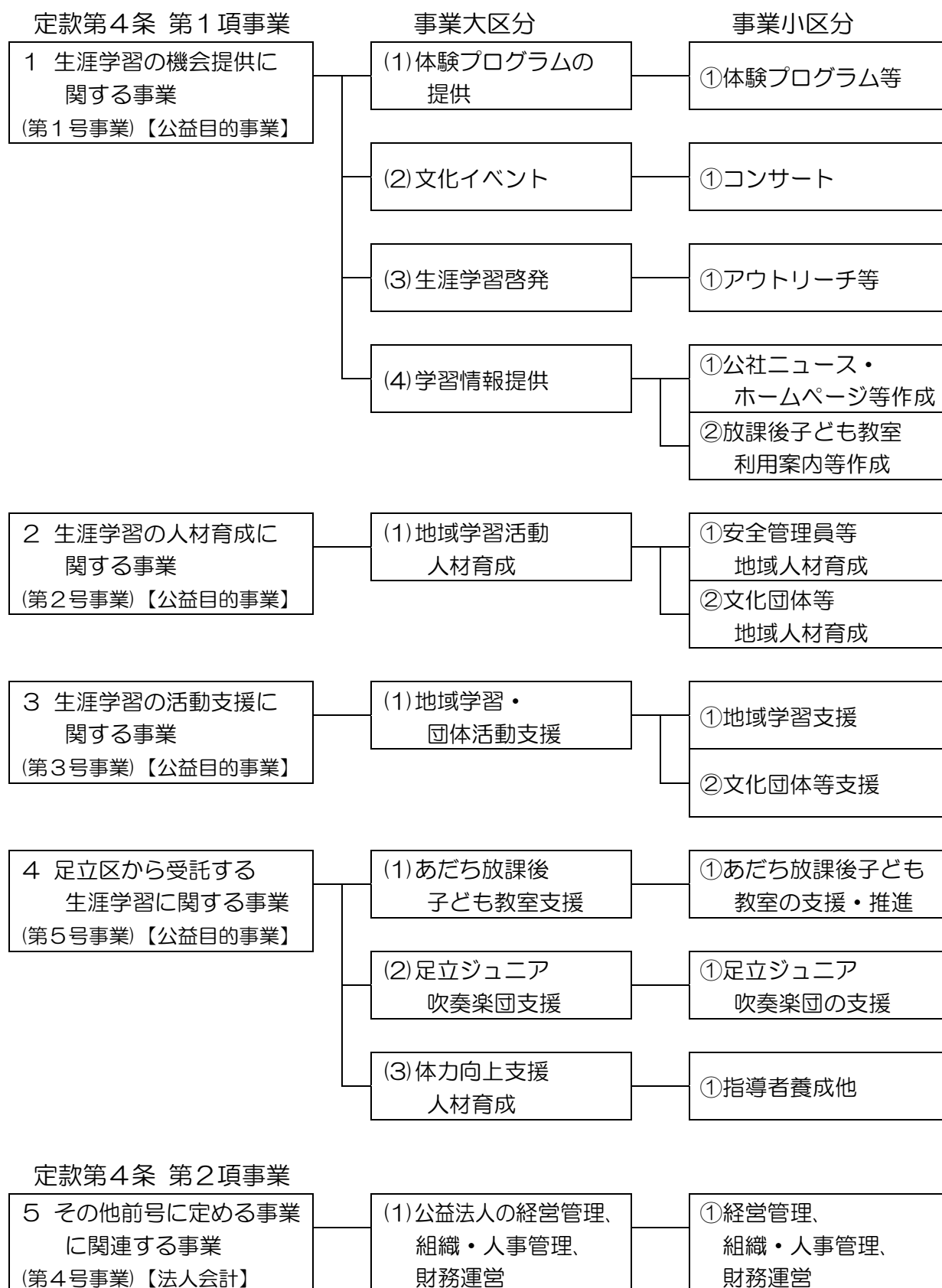
（執行機関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
(代表理事) (業務執行理事)

（事 務 局）

事務局長
総務部 — 企画総務課、企画調整担当課長、経理課
学習事業部 — 放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長
学習・スポーツ事業課、文化活動支援課

2019 年度（平成 31 年度） 定款事業別体系図



目 次

1 あだち放課後子ども教室事業

【1】	あだち放課後子ども教室の支援《区受託》	6
【2】	『放課後+One』(放課後子ども教室における体験プログラム)	6-7
	(ア)地域人材活用・体験プログラム	
	(イ)団体連携・体験プログラム	
	(ウ)公社企画・体験プログラム	
【3】	安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》	8
【4】	新任安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》	8
【5】	安全管理員研修会	8
【6】	運営委員会《区受託》	9
【7】	ブロック会議《区受託》	9
【8】	「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成	10
【9】	「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成	10

2 文化事業

【1】	あだちアートリンクカフェ	11
【2】	あだちアートリンクカフェ 公開講座	11
【3】	実践！アウトリーチ講座	11
【4】	文化団体等支援	12
【5】	イベントコーディネート事業	12
【6】	楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(通年)《区受託》	12
【7】	足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)	12
【8】	コンサートin ミュージアム	13
【9】	小学校アウトリーチコンサート	13
【10】	子ども未来応援アウトリーチコンサート	13

3 生涯学習・スポーツ事業

【1】	あだちこどもサポーター養成講座		14
【2】	あだちこどもサポータースキルアップ講座		14
【3】	あだちこどもサポーターフォロー講座		14
【4】	あだちこどもサポーター活動支援		15
【5】	あだちこどもサポーターネットワーク支援		15
【6】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢者)～		15
【7】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～		16
【8】	健康づくり・スポーツ活動支援講座		16
【9】	地域活動支援講座		16
【10】	地域学習コーディネート事業		17
【11】	読み語りキャラバン隊によるおはなし会		17

4 広報事業

【1】	公社ニュース「ときめき」での自主事業等情報発信		18
【2】	公社ホームページによる情報提供事業		18

5 その他

【1】	公益目的事業に対する人件費		19
【2】	その他前号に定める事業に関連する事業		19

1 あだち放課後子ども教室支援事業

あだち放課後子ども教室支援	予算額	245, 745, 000 円
---------------	-----	-----------------

【1】あだち放課後子ども教室の支援 《区受託》		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号		通年	—	—	—	—
(1)あだち放課後子ども教室*支援						
①あだち放課後子ども教室の支援・推進						
概要	各小学校の放課後子ども教室とその運営にあたる実行委員会への支援					
目的	①各小学校の放課後子ども教室及び実行委員会*の安定運営を継続する。 ②体験・交流活動の充実を図る。 ③全学年実施校を拡大する。					

* あだち放課後子ども教室:放課後の小学校の校庭や図書室等を活用し、小学生に安全安心な居場所を提供する足立区教育委員会主催の事業。地域の方々が安全管理員(以下、スタッフ)として、見守る中、子どもたちが自主的に遊び、学び、読書等さまざまな体験、交流をおこなう活動場所。

* 実行委員会:各小学校の放課後子ども教室を運営する団体。地域住民により構成され、年間の事業計画や運営方法、スタッフを選任する。

【2】『放課後^{プラスワン} + One』(放課後子ども教室における体験プログラム)

定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等

(ア) 地域人材活用・体験プログラム		予定回数／目標人数		実施結果		達成
		216 回	3,160 人	-回	-人	-
概要	公社が育成した人材を紹介し、実行委員会が実施するプログラム					
目的	①おりがみ教室では想像力の醸成と集中力の向上、読書支援では本への興味関心を高める。 ②子どもに関わる第三の大人を増やすことにより、子どもの体験・交流活動を促進する。 ③地域人材を子どもの活動支援者として活躍してもらう機会を創る。					
実施	放課後キッズおりがみ教室(実施 25 校各8回)	200 回	3,000 人	-回	-人	-
予定	放課後キッズ読書支援(実施 2 校各 8 回)	16 回	160 人	-回	-人	-

(イ) 団体連携・体験プログラム		予定回数／目標人数		実施結果		達成
		105 回	2,255 人	-回	-人	-
概要	公社が企業等の団体と連携し、実施するプログラム					
目的	①放課後子ども教室に適したプログラムを有する様々な団体と連携して、児童の体験・交流活動を充実させる。 ②読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、同じ目的のプログラムを実施する団体と連携し、体験・交流活動の効果を高める。					
実施 予定	フラッグ鬼ごっこ*/スポーツ推進委員会/2 校	20 回	500 人	-回	-人	-
	スポーツスタッキング*教室 /総合型地域スポーツクラブ U&U/8 校	40 回	800 人	-回	-人	-
	ミニコンサート&楽器体験/AJBT/8 校	8 回	240 人	-回	-人	-
	どうぶつしょうぎ*教室 /どうぶつしょうぎを育てる会「いっぽ」/6 校	12 回	240 人	-回	-人	-
	工作「ハンズヒントクラブ」/(株)東急ハンズ/1 校	1 回	30 人	-回	-人	-
	「おもちゃ講座」/イワヤ(株)/1 校	1 回	20 人	-回	-人	-
	将棋教室/日本将棋連盟/2 校	16 回	320 人	-回	-人	-
	ビブリオバトル*/(株)グランディオサービス /3 校	7 回	105 人	-回	-人	-

*フラッグ鬼ごっこ:スポーツ推進委員会が普及している鬼ごっこ型の宝取りゲーム

*スポーツスタッキング:数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技

*どうぶつしょうぎ:3×4 マスの盤でライオンや象が描かれた 8 個の駒で対戦する、将棋のルールを、簡略化した将棋ゲーム

*ビブリオバトル:数人の発表者が本を紹介し、一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム

(ウ) 公社企画・体験プログラム		予定数／目標校数		実施結果		達成
		8 種目	新規 87 校(延)	-種目	-校	-
概要	公社が放課後子ども教室に導入し、スタッフが実施するプログラム					
目的	①児童の体験・交流活動を充実させるため、放課後子ども教室の条件に適したプログラムを用意し、各校の活動状況に合ったものを導入してプログラム実施校を増やす。 ②読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、放課後子ども教室の特性を活かしたプログラムを開発して各校に導入し、体験・交流活動の効果を高める。					
実施 予定	(1) スポーツスタッキング/8 校(2) 天下統一*/10 校、(3) 投げる遊び*/10 校、(4) ラッキーパズル*/5 校、(5) どうぶつしょうぎ/6 校、(6) 読書の通帳*/3 校、(7) 大型図書*/5 校、(8) ちゃれんじ! 知る見る・ザ・ワールド*/40 校					

*天下統一:ボールを投げて人に当てたり、そのボールを捕ったり逃げたりする運動あそび

*投げる遊び:たまねぎ型のボール投げや的当てなど、投げる力を養う運動あそび全般

*ラッキーパズル:数種類の木片を組み合わせる様々な形を作る木製のパズルゲーム

*読書の通帳:読んだ本のタイトルを記入する通帳型のカード

*大型図書:新聞紙大の絵本や、パネルシアター等、子どもの目を惹く図書資料を貸し出す取組み

*ちゃれんじ!知る見る・ザ・ワールド:世界の国々へ関心を持つきっかけとなるような書籍を用いて「チャレンジカード」や「国旗しおり」、「万国旗」を作成する取組み

【3】安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号						
(1)あだち放課後子ども教室支援		69回	1,035人	-回	-人	-
①あだち放課後子ども教室の支援・推進						
概要	スタッフが事故やケガ、熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会 (毎年全校で実施)					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。					
実施 予定	4月～7月 全小学校の放課後子ども教室 69校	69回	1,035人	-回	-人	-

【4】新任安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号						
(1)あだち放課後子ども教室支援		3回	-	-回	-人	-
①あだち放課後子ども教室の支援・推進						
概要	新規に登録したスタッフが事故やケガ、熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。					
実施 予定	10月 生涯学習センター	1回	-	-回	-人	-
	12月 生涯学習センター	1回	-	-回	-人	-
	2月 生涯学習センター	1回	-	-回	-人	-

【5】安全管理員研修会		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成①安全管理員等地域人材育成		5回	300人	-回	-人	-
概要	スタッフが見守り業務に役立つ専門的知識と技術を学ぶ研修会					
目的	児童への接し方、危機管理等に関する知識を得て、スタッフとしての対応能力を高める。					
実施 予定	7月 生涯学習センター他	1回	100人	-回	-人	-
	10月 生涯学習センター他	2回	100人	-回	-人	-
	11月 生涯学習センター他	2回	100人	-回	-人	-

【6】運営委員会		《区受託》		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号								
(1)あだち放課後子ども教室支援				1回	-	-回	-人	-
①あだち放課後子ども教室の支援・推進								
概要	全放課後子ども教室及び関係団体の代表により組織され、放課後子ども教室事業について、検討・調整を行う会議							
目的	各事項の検討を通して、事業趣旨や必要性に対する理解を深めるとともに、新しい課題への共通認識を持ち、日常運営での取り組みに反映する。							
実施 予定	1月 生涯学習センター	1回	-	-回	-人	-		

【7】ブロック会議		《区受託》		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号								
(1)あだち放課後子ども教室支援				13 回	-	-回	-人	-
①あだち放課後子ども教室の支援・推進								
概要	小学校 13 ブロックごとに、実行委員会と学校の代表者が、情報交換や課題の協議・調整を行い、運営委員会の円滑な実施を補完する会議							
目的	実行委員会の代表者が、他校の実施状況や、事業の方向性、現状課題に関連する情報発信を受けて、より充実した日常運営での取り組みに反映する。							
実施 予定	11 月 各ブロックの小学校	13 回	-	-回	-人	-		

【8】「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成		予定回数／目標人数		実施結果		達成
		随時	－	－	－	－
概要	放課後子ども教室の事業内容をわかりやすく掲載し、保護者及び関係者へ配付する冊子					
目的	①放課後子ども教室の活動内容を広く周知し、参加を促進する。 ②保護者へ事業内容及び参加時のルール等の理解を促し、円滑な教室運営につなげる。 ③実行委員・スタッフ、学校関係者等に運営に関する共通理解を図り、安定的な教室運営につなげる。					
実施 予定	配付時期:随時 配付先:新入学児童の保護者、実行委員、スタッフ、学校関係者等					

【9】「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成		予定回数／目標人数		実施結果		達成
		随時	－	－	－	－
概要	放課後子ども教室及びスタッフの活動内容や体験談等を掲載し、スタッフ募集の際に配布するパンフレット					
目的	スタッフ活動の魅力を発信し、スタッフの安定確保を図る。					
実施 予定	配布時期:随時 配布先:保護者、放課後子ども教室実行委員、スタッフ等					

2 文化事業

文化事業	予算額	9,988,000 円
------	-----	-------------

【1】あだちアートリンクカフェ		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号		6回	130人	-回	-人	-
(1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成						
概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会					
目的	①情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。 ②出会いをきっかけとして、参加者による自主的な企画を創出する。 ③出会いの場に特化した異業種の交流会を実施することにより新たな区民還元となる文化事業につなげる。					
実施 予定	4月～3月 夜間 東京芸術センター他	6回	130人	-回	-人	-

【2】あだちアートリンクカフェ公開講座		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第 4 条第 1 項第 2 号		1 回	300 人	-回	-人	-
(1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成						
概要	「あだちアートリンクカフェ」の一般区民向けの公開講座					
目的	①文化芸術に関心の高い区民を対象に講座を提供し、文化面での区民還元を図る。 ②情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ、地域の持つ力の向上を図る。					
実施 予定	10 月 5 日(土)午後 あだち区民まつり A-Festa2019 荒川河川敷 ドラムサークルを実施	1 回	300 人	-回	-人	-

【3】実践！アウトリーチ講座		予定回数／目標人数		実施結果		達成				
定款第4条第1項第2号		1回	15人	-回	-人	-				
(1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成										
概要	アウトリーチ活動に関心を持つアーティスト等を対象に、アウトリーチ活動に関する知識と技術を学ぶ講座(2日制)									
目的	①アウトリーチの知識・技術の習得により、地域でアウトリーチ活動を行う人材を育成する。 ②演奏家やそれを支える人材を発掘し、地域での活動による区民還元の可能性を拡大する。									
実施 予定	4月13日(土)・14日(日) 竹の塚地域学習センター	1回	15人	-回	-人	-				

【4】文化団体等支援		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号		6回	-	-回	-人	-
(1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援						
概要	自主的な文化活動を行う区民、団体に対し、助言や活動の場の提供などの支援をする。					
目的	活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。					
実施 予定	ブリランテコンサート	2回	-	-回	-人	-
	足立吹奏楽団	2回	-	-回	-人	-
	歓喜の演(狂言・合唱)	2回	-	-回	-人	-

【5】イベントコーディネート事業		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号		随時	-	-件	-	-
(1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援						
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口					
目的	地域での主体的な文化芸術活動の活性化を図る。					

【6】楽団及び楽団友の会の運営支援、 演奏活動の支援(通年) <区受託>		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第5号		108回	12,750人	-回	-人	-
(1)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団の支援						
概要	「足立ジュニア吹奏楽団」の育成・活動の支援					
目的	①生涯にわたり音楽を愛好する児童の育成を図り、区の音楽文化を支える人材の輩出に貢献する。 ②楽団活動を通して、足立区の音楽文化の向上、発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。					
実施 予定	定期練習 島根小学校音楽室	85回	3,000人	-回	-人	-
	楽団活動	10回	450人	-回	-人	-
	自主演奏会	5回	1,800人	-回	-人	-
	派遣演奏/イベント出演	8回	7,500人	-回	-人	-

【7】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号		4回	-	-回	-	-
(1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援						
概要	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の助成					
目的	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。					

【8】コンサート in ミュージアム		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号		5回	250人	-回	-人	-
(2)文化イベント ①コンサート						
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサート					
目的	①各施設の魅力とその特性を活かした良質のコンサートや催し物を区民に提供する。 ②5施設をつなぎコンサートを実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。 ③各施設の主体的な事業運営を促すことにより、区民との協創関係を構築する。					
実施 予定	昭和の家〈平田邸〉	1回	50人	-回	-人	-
	石洞美術館	1回	50人	-回	-人	-
	六町ミュージアム・フローラ	1回	50人	-回	-人	-
	わたなべ音楽堂〈ベルネザール〉	1回	50人	-回	-人	-
	BUoY 北千住アートセンター	1回	50人	-回	-人	-

【9】小学校アウトリーチコンサート		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号		4校	300人	-回	-人	-
(3)生涯学習啓発 ①アウトリーチ等		/12回				
概要	小学生を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート					
目的	①間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ②生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。					
実施 予定	9月～3月、4校、各3クラス (1クラス単位で実施) 計12回	12回	300人	-回	-人	-

【10】子ども未来応援アウトリーチコンサート		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号		1回	100人	-回	-人	-
(3)生涯学習啓発 ①アウトリーチ等						
概要	子どもの貧困対策の視点から児童等を対象に、プロの生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションを図るコンサート					
目的	①間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ②子どもの貧困対策の視点から生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む機会の場を提供する。					
実施 予定	公共ホール等	1回	100人	-回	-人	-

3 生涯学習・スポーツ事業

生涯学習・スポーツ事業	予算額	1, 233, 000 円
-------------	-----	---------------

【1】あだちこどもサポーター養成講座		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		4回	84人	-回	-人	-
概要	子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座					
目的	①地域人材を発掘・育成する。 ②子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。					
実施 予定	読み語りのためのボイストレーニング講座《5日制》	1回	20人	-回	-人	-
	子どもと遊ぶおりがみ教室 第12期《5日制》	1回	24人	-回	-人	-
	あそびサポーター講習会（レクゲーム系）	1回	20人	-回	-人	-
	あそびサポーター講習会（運動あそび系）	1回	20人	-回	-人	-

【2】あだちこどもサポータースキルアップ講座		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		4回	86人	-回	-人	-
概要	こどもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座					
目的	①サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ②子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。					
実施 予定	読み語りボイストレーニングスキルアップ講座	1回	16人	-回	-人	-
	おりがみサポーターレベルアップ講座	2回	60人	-回	-人	-
	おりがみサポーター1年目活動支援講座	1回	10人	-回	-人	-

【3】あだちこどもサポーターフォロー講座		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成		2回	60人	-回	-人	-
概要	こどもサポーター活動を継続するための意識啓発講座					
目的	①活動のモチベーションの向上を図る。 ②ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に付ける研修機会を提供する。					
実施 予定	サポーターフォロー講座Ⅰ (交流研修) ～ボランティア活動の魅力と悩みを共有する～	1回	30人	-回	-人	-
	サポーターフォロー講座Ⅱ (子どもの心理) ～子どもの発達段階の理解と対応を学ぶ～	1回	30人	-回	-人	-

【4】あだちこどもサポーター活動支援		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号		随時	－	－回	－人	－
(1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成						
概要	こどもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ・保育園・高齢者施設等)					
目的	①サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ②サポーターの主体的活動への発展を目指す。					
実施 予定	おりがみサポーターの活動の支援(25 校)	－	－	－回	－人	－
	読書支援サポーター活動の支援 (3 校)	－	－	－回	－人	－
	読み語りキャラバン隊活動の支援(自主公演)	－	－	－回	－人	－

【5】あだちこどもサポーターネットワーク支援		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号		10回	170人	-回	-人	-
(1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成						
概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等					
目的	①活動者相互の情報交換・技術向上。 ②自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。					
実施 予定	おりがみサポーター交流会Ⅰ	1回	40人	-回	-人	-
	おりがみサポーター交流会Ⅱ	1回	40人	-回	-人	-
	読み語りキャラバン隊・自主練習会	7回	70人	-回	-人	
	読み語りキャラバン隊・活動連絡会	1回	20人	-回	-人	

【6】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢期)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他		予定回数／目標人数		実施結果		達成	
		4回	120人	-回	-人	-	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会						
目的	①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。						
実施 予定	上半期	シニア対象・基礎理論編	1回	30人	-回	-人	-
	上半期	シニア対象・実践指導編	1回	30人	-回	-人	-
	下半期	高齢者対象・基礎理論編	1回	30人	-回	-人	-
	下半期	高齢者対象・実践指導編	1回	30人	-回	-人	-

【7】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～ 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		4回	120人	-回	-人	-
概要	子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	①地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ②「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。					
実施 予定	上半期 幼児対象・基礎理論編	1回	30人	-回	-人	-
	上半期 幼児対象・実践指導編	1回	30人	-回	-人	-
	下半期 小学生対象・基礎理論編	1回	30人	-回	-人	-
	下半期 小学生対象・実践指導編	1回	30人	-回	-人	-

【8】健康づくり・スポーツ活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		2回	80人	-回	-人	-
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座					
目的	①生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 ②スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。					
実施 予定	スポーツコンディショニング講座 (安全で効果的な運動方法&セルフメンテナンス)	1回	30人	-回	-人	-
	あだちウエルネスカレッジ Vol.10 (健康・体力づくり情報の最前線)	1回	50人	-回	-人	-

【9】地域活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		2回	60人	-回	-人	-
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座					
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。					
実施 予定	子ども学講座 I・II 《各2日制》 (子どものことを考える大人の勉強会)	2回	60人	-回	-人	-

【10】地域学習コーディネート事業		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号		随時	－	－回	－人	－
(1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援						
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口					
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。					

【11】読み語りキャラバン隊*によるおはなし会		予定回数／目標人数		実施結果		達成				
定款第4条第1項第1号		5回	250人	-回	-人	-				
(1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等										
概要	地域の施設を巡回し、子どもや親子に読書に親しんでもらう機会を提供するイベント型おはなし会									
目的	①本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ②親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。									
実施 予定	6月～2月 読み語りキャラバン in 地域図書館 等	5回	各50人	-回	-人	-				

* 読み語りキャラバン隊: 公社主催「読み読りのためのボイストレーニング講座」修了者有志により編成

4 広報事業

広報事業	予算額	8,433,000 円
------	-----	-------------

【1】公社ニュース「ときめき」での自主事業等 情報発信		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成		12回	-	-回	-	-
概要	公社自主事業や「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報を掲載。(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉センターゆう、年12回、全戸配布)					
目的	公社事業を広く区民に周知する。					
実施 予定	毎月1日発行、区内全戸配布(月31万部発行) 毎月、自主事業(学習・スポーツ事業、文化事業)の募集案内を掲載する。随時、あだち放課後子ども教室・自主事業のコラムを掲載する。					

【2】公社ホームページによる情報提供事業		予定回数／目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成		通年	-	-	-	-
概要	公社概要や事業案内などの情報提供を行う。					
目的	公社事業への興味関心を高める。					
実施 予定	事業案内、事業報告などの情報を随時(月2～3回)掲載する。					

5 その他

公益目的事業に対する人件費

公益目的事業に対する人件費	予算額	271, 866, 000 円
---------------	-----	-----------------

【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系 1～4	
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費

その他前号に定める事業に関連する事業

その他前号に定める事業に関連する事業	予算額	51, 403, 000 円
--------------------	-----	----------------

【2】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、 財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】	
概要	理事会や評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

2019 年度(平成 31 年度)事業計画書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724

2019年度(平成31年度)

収 支 予 算 書
(正味財産増減計算ベース)



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

予 算 総 則

2019年度(平成31年度)の公益財団法人足立区生涯学習振興公社収支予算書は、次に定めるところによる。

(正味財産増減予算の会計区分及び額)

- 第1条 一般正味財産経常収益の公益目的事業会計の額は、530,769,000 円 と定める。
- 2 一般正味財産経常収益の法人会計の額は、51,537,000 円 と定める。
- 3 一般正味財産経常費用の公益目的事業会計の額は、537,265,000 円 と定める。
- 4 一般正味財産経常費用の法人会計の額は、51,403,000 円 と定める。
- 5 収益費用の各会計ごとの勘定科目及び額は、「2019年度(平成31年度)公益財団法人足立区生涯学習振興公社収支予算書(正味財産増減計算ベース)」による。

平成31年2月8日

提出者 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
理事長 亀 村 精 一

2019年度(平成31年度)公益財団法人足立区生涯学習振興公社収支予算書
(正味財産増減計算ベース)
2019年4月1日から2020年3月31日まで

単位:円

科 目	公益目的事業会計		法 人 会 計	内部取引消去	合 計
	公1				
	生涯学習事業				
1 一般正味財産増減の部					
1.経常増減の部					
(1)経常収益					
基本財産運用益					
1 基本財産受取利息	10,950,000				10,950,000
特定資産運用益					
2 特定資産受取利息	715,000		10,000		725,000
その他固定資産運用益					
3 その他固定資産受取利息			60,000		60,000
事業収益					
4 自主事業収益					
5 受託事業収益	248,270,000				248,270,000
受取補助金等収益					
6 受取区補助金	270,734,000		51,367,000		322,101,000
7 受取助成金					
受取寄付金収益					
8 受取寄付金					
雑収益					
9 受取利息	100,000		100,000		200,000
10 雑収益					
11 経常収益計	530,769,000		51,537,000		582,306,000
(2)経常費用					
事業費					
12 役員報酬	3,775,000				3,775,000
13 給料手当	178,982,000				178,982,000
14 福利厚生費	41,365,000				41,365,000
15 退職給付費用	17,734,000				17,734,000
16 賃金	29,276,000				29,276,000
17 会議費	170,000				170,000
18 旅費交通費	318,000				318,000
19 通信運搬費	1,436,000				1,436,000
20 什器備品費	210,000				210,000
21 消耗品費	6,962,000				6,962,000
22 修繕費	565,000				565,000
23 印刷製本費	100,000				100,000
24 賃借料	1,168,000				1,168,000
25 保険料	2,620,000				2,620,000
26 租税公課	170,000				170,000
27 諸謝金	235,617,000				235,617,000
28 委託費	9,681,000				9,681,000
29 負担金	316,000				316,000
30 交付金	6,800,000				6,800,000

単位:円

計 上 概 要			
			合計
基本財産の運用による受取利息			10,950,000
特定資産の運用による受取利息			725,000
その他固定資産の運用による受取利息			60,000
事業収益			248,270,000
受託事業収益(足立区との委託契約に基づく受託事業収益)		248,270,000	
受取補助金等収益			322,101,000
受取区補助金(人件費補助【派遣・再任用職員】に対する足立区からの補助金)		8,466,000	
〃 (公社管理運営費補助【固有・非常勤職員】に対する足立区からの補助金)		313,635,000	
雑収入			200,000
その他利息収入		200,000	
事業費			537,265,000
公益目的事業会計		537,265,000	
ア 生涯学習の機会提供に関する事業	14,636,000		
イ 生涯学習の人材育成に関する事業	1,858,000		
ウ 生涯学習の活動支援に関する事業	635,000		
エ 足立区から受託する生涯学習に関する事業	248,270,000		
オ 公益目的事業に対する人件費	271,866,000		

単位:円

	科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内部取引消去	合 計
		公1			
		生涯学習事業			
	管理費				
31	役員報酬		1,018,000		1,018,000
32	給料手当		17,702,000		17,702,000
33	福利厚生費		5,311,000		5,311,000
34	退職給付費用		1,695,000		1,695,000
35	賃金		2,669,000		2,669,000
36	会議費		22,000		22,000
37	旅費交通費		249,000		249,000
38	通信運搬費		2,104,000		2,104,000
39	消耗品費		1,000,000		1,000,000
40	修繕費		124,000		124,000
41	光熱水費		2,770,000		2,770,000
42	賃借料		8,316,000		8,316,000
43	保険料		320,000		320,000
44	租税公課		50,000		50,000
45	諸謝金		1,658,000		1,658,000
46	委託費		5,760,000		5,760,000
47	負担金		324,000		324,000
48	交際費		55,000		55,000
49	燃料費		256,000		256,000
50	経常費用計	537,265,000	51,403,000		588,668,000
51	当期経常増減額	▲6,496,000	134,000		▲6,362,000
	2 経常外増減額				
	(1)経常外収益				
52	経常外収益計	0	0		0
	(2)経常外費用				
53	経常外費用計	0	0		0
54	当期経常外増減額	0	0		0
55	他会計振替額	0	0		0
56	当期一般正味財産増減額	▲6,496,000	134,000		▲6,362,000
57	一般正味財産期首残高	51,223,430	214,282,412		265,505,842
58	一般正味財産期末残高	44,727,430	214,416,412		259,143,842
	Ⅱ 指定正味財産増減の部				
59	当期指定正味財産増減額	0	0		0
60	指定正味財産期首残高	1,500,000,000	0		1,500,000,000
61	指定正味財産期末残高	1,500,000,000	0		1,500,000,000
62	Ⅲ 正味財産期末残高	1,544,727,430	214,416,412		1,759,143,842

単位:円

計 上 概 要			
			合計
管理費 法人会計		51,403,000	51,403,000
ア 公社事務局の運営経費(人件費含む)	51,403,000		
～参考～ ◆足立区からの補助金 ¥322,101,000 《内訳》 *人件費 ¥8,466,000 派遣職員7名、共済事業主負担等 *公社管理運営補助 ¥313,635,000 固有職員22名、非常勤職員等13名、給料手当、賃金、 社会保険事業主負担、事務局運営経費等			

平成31年度 当初予算編成のあらまし(概要)

1 足立区の予算編成状況

☞P3

「より強く、築こう。人生100年時代の礎」

(注)

☞PO・・・「予算編成のあらまし」
の参照ページを表示しています。

と名付け、東京2020大会に向けた機運醸成とその先を見据えたレガシーづくりとともに、特に「健康」「治安・防災対策」「子どもの学習環境整備」の3つの施策において新たな展開を見せていくなど、「人生100年時代」の礎を築くための予算。

【財政規模】

一般会計の総額 2,865億5千4百万円（前年度比+96億5千4百万円、+3.5%）

<主な増減>

義務教育施設建設資金積立基金積立金+30億円 鉄道立体化の促進事業+29億円

小・中学校施設の保全事業+27億円 電子計算組織管理運営事務+22億円

私立保育園の運営費助成事業+21億円

区立小・中学校の改築事業△53億円 大学病院整備事業△46億円

2 教育委員会の当初予算編成の状況

◆ 教育委員会の予算総額 600億2,490万円

（前年度比+40.4億円、+7.2%）

一般会計に占める教育委員会の予算割合 20.9%（前年度20.2%）

（1）教育指導部の経常的経費 4億9,722万円（前年度比△2,773万円、△5.3%）

【主な増減要因】

キャリア教育支援事業対象拡大による増 +1,050万円

区学力調査の学習意識調査充実、中1英語追加による増 +857万円

校務用PC更新に伴うソフト購入、支援委託経費の減 △2,528万円

学校ホームページ運用支援委託の終了 △2,430万円

中学校英語教育推進モデル地区事業の終了 △650万円

<主要事業>

① 学力向上対策推進事業(学力定着推進課)・・・2億529万円 ☞P37、71

⇒**拡充**学力調査の実施 学習意識調査の充実、中1英語の追加

⇒**拡充**あだち小学生夏休み学習教室 テキストの充実

⇒**拡充**英語学力4技能調査 モデル実施の拡充

② 学校の指導事務(教育指導課)・・・5,051万円 ☞P66、71

⇒**新規**部活動指導員（非常勤職員）の配置 教員の負担軽減のために配置

⇒**拡充**社会科副読本の作成及び購入 学習指導要領の改訂に伴う作成経費等の増

③ 教育課題解決への取組事務(教育指導課)・・・8,707万円 ☞P66、71

⇒**新規**プログラミング教育推進校 「プログラミング的思考」を育む

⇒**拡充**キャリア教育支援事業 補助対象の拡大（小4～6年生に中学校全学年追加）

⇒**拡充**水泳指導補助員の配置 配置対象の拡大

④ ICT環境整備(教育政策課) 10億9,051万円

※5年総額 42億円(政策経営部で計上)

- ⇒ ICT機器の整備 タブレット 教員用約2,000台、児童生徒用原則40台/1校
 大型提示装置 全普通教室1台、特別教室6台/1校
 無線LAN環境 全普通教室、特別教室6室/1校

(2) 学校運営部の経常的経費 138億1,643万円(前年度比+32.9億円、+31.2%)

※義務教育施設建設資金積立基金積立金の+30億円を除くと、
 前年度比+2億8,613万円、+2.7%となる。

【主な増要因】

小学校教師用教科書・指導書の購入経費	+9,347万円
新入学児童学用品扶助の前倒し支給による増	+6,155万円
緊急地震速報受信装置の導入経費(小中学校及び校外施設)	+3,995万円
学校施設の保全・更新計画の策定経費	+3,000万円

<主要事業>

① 育英資金事業(学務課) 3億8,234万円

⇒大学等入学準備金支援助成、一部償還免除特例枠の継続実施

② 小・中学校の自然教室(学務課) 2億4,581万円

⇒鋸南自然教室、日光自然教室、魚沼自然教室の継続実施

③ 放課後子ども教室の推進(学校支援課) 2億5,333万円 ⇒ 安全管理員の待遇改善④ その他の事業

- ⇒ 音声自動応答装置・公用携帯電話の導入(教員の働き方改革)
 ⇒ 緊急地震速報受信装置の導入(小中学校及び校外施設)
 ⇒ 地域BWAを活用した登下校等通知メール配信利用助成(モデル地区)
 ⇒ 大型扇風機の導入(小学校4台、中学校2台)
 ⇒ 新入学児童学用品扶助の前倒し支給

(3) 学校運営部の投資的経費 107億8,954万円(前年度比△23.3億円、△17.8%)

【主な増減要因】

区立小学校の改築事業の減	△37.1億円(千寿小改築工事の完了)
区立中学校の改築事業の減	△16.0億円(江北桜中改築工事の完了)
小学校施設の保全事業の増	+18.2億円(トイレ改修の前倒し)
中学校施設の保全事業の増	+9.0億円(トイレ改修の前倒し、体育館検証用エアコン)

<主要事業>

① 区立小学校の改築事業	5.1億円
② 区立中学校の改築事業	20.0億円
③ 小学校施設の保全事業	51.7億円
④ 中学校施設の保全事業	24.8億円

(4) 子ども家庭部の経常的経費 308億6,088万円(前年度比+30.9億円、+11.1%)

【主な増減要因】

私立保育園の運営費助成事業の増	+20億9,172万円
幼稚園就園奨励事業の増(無償化対応含む)	+6億1,510万円

<主要事業>

① 発達障がい児支援事業/養育困難改善事業 3,343万円

- ⇒チューリップシートを全就学予定児童の家庭に配付し、児童情報を就学先へつなぐ
- ⇒児童虐待の防止・対応(養育支援訪問事業・児童虐待防止の普及啓発など)

② 教育相談事業(不登校対策事業) 1億 37万円

- ⇒チャレンジ学級竹の塚の増設による増(区内2箇所→3箇所)
- ⇒NPOと連携した学習支援の増設による増(区内1箇所→2箇所)

③ 待機児ゼロに向けて(「足立区待機児童解消アクション・プラン」に基づく保育施設整備と保育士確保・定着対策等) 286億9,820万円

- ⇒私立保育園の施設整備助成、認証保育所及び小規模保育の整備
- ⇒保育従事者永年勤続褒賞事業

(5) 子ども家庭部の投資的経費 40億6,083万円(前年度比+2,503万円、+0.6%)

<主要事業>

- ① 私立保育園施設整備助成事業 36.7億円
- ② 保育施設整備事業 2.3億円
- ③ 中学校特別支援教室整備事業 0.5億円
- ④ 子ども家庭関係施設改修事業 1.1億円